

小笠東地区 市政懇談会

日時 平成 18 年 7 月 8 日 19 時から

会場 丹野公民館

参加者数 90 人

懇談(質疑応答)

地区会長より

東地区の地区センターの建設について

・場所は

・いつ頃までに建設されるのか

市役所の新機構について

・市となって1年と半年が経過するが、うまく機能しているか。

掛川浜岡バイパス(奈良野から下平川の区間)

・進捗状況

・開通の見通し

県道大東菊川線(丹野池の手前数百メートルの道路拡幅)

・計画

・進捗状況

丹野トンネルの切通しについて

・現在のトンネルは狭く危険である。早期に着手してもらいたい。

工業団地(三沢から丹野)について

・工業団地の計画を説明して欲しい

・工業団地と丹野トンネルの切通しを関連して考えているか

災害時の市の食料保存について

・非常食の保管量

・保管場所など

市長

地区センターは、今回の合併の中の大きな目玉で、コミュニティセンターを核としたまちづくりを、進めていきたいと考えております。東地区の皆さんも何度か会合を持っていただき、用地の選定、あるいはどのようなコミュニティ協議会を進めていくかということ話し合っていたと聞いております。よその地区の話をして恐縮ですが、嶺田地区、南地区の方も、ほぼ同じくしてこの場所が良いよというところが出ており、私としてはなるべく早く、合併特例債を使ってコミュニティセンターを作らせてい

ただきたいと考えております。

しかし、先立つものはお金でありまして、一度に3つということは出来ませんので、総合計画の中、地域のみなさんのお考えとかを考える中で、1日でも早く出来るように努力してまいりますので、地域の皆様のご協力をお願いします。

次に、市役所の新機構についてですが、合併した17年1月に人事異動を行いまして、17年4月に第1回の組織替えを行い、18年の4月にも、本格的な組織替えをしました。職員も顔は知っていたが、よく知らない職員同士でしたし、同じサービスでもやり方が違うということで、市民のみなさんにもご迷惑をおかけしたことは、申し訳ないと思っております。17年4月、18年4月に大幅な組織替えをさせていただきましたが、職員の信頼関係も高まり、順調にきているところであります。本庁、支所、教育委員会も中央公民館へ移動、試行錯誤であります。職員をスリム化していかなければなりません。ただスリム化してサービスが低下してはいけません。5年後の組織をイメージして、今までとは違った行政サービスになるかもしれませんが、自治会長、議員さんの指導をいただきながら、スリム化しても市民サービスが低下しない行政にしていきます。

掛川浜岡バイパスについては、2.29km、総事業費約30億円かかる、地域の皆さんの協力とご理解がないと出来ない事業です。合併において最も優先する事業として職員に指示しているところであり、1年でも早く投資効果が出るよう取り組んでまいります。1,500mを県の合併支援事業、790mを合併特例債事業として、やっております。今年度も4億円ほどの予算で事業を進め、先程話しましたとおり順調にいけば、用地費から工事に入れるかもしれません。そうすれば県も本気となり、取り組んでくれるかもしれません。5年で成果を出すと言っている事業です。

大東菊川線についてであります。原の皆さんからも何度も何とかしてと言われております。地元の赤堀県議にもこの件について話をしており、最近、ご本人も現場を見に行かれております。しかし、非常に残念なことに、県の予算額は1,000万円ほどで、まだしばらくは事業がかかります。事業の手法に2つあり、きちっとした整備でやるか、期間を短くしてやるか、今、県と市で話しております。一年でも早くご利用いただける県道となるよう、粘り強く働きかけてまいりますので、地域の皆様の後押しをお願いします。

丹野トンネルの切通しの件ですが、昨年も今年も、地元の宮城議員さん、自治会長さん、議員経験者のみなさんからも強く言われております。何らかの方法で、トンネルを何とかしないと、合併の一体性に欠けると言われており、県の方をお願いしております。今週、赤堀県議が一般質問をされ、この問題について土木部長に要望をされました。県の方としては、バイパスを作る方法もあると言っていますが、それには巨額の費用がかかり、膠着状態です。地域の皆さんの一番強い要望と認識しており

ますので、私も機会あるごとに、県の方に強く要望してまいります。

工業団地についてです。合併時に、企業誘致をする場所がなく、いくつかの候補地を探させてもらいました。いち早く、こちらの地域の皆さんより、どうだとの話がありました。私達も、地元の皆さんの協力がいただける。農振除外の申請、埋文といったものについて、比較的ハードルが低い、そして隣に三沢の工業団地があると言った優位性を考えました。しかし、一方では、非常に高低差があるとか、造成による残土処分等の問題とか、コスト的な計算をしているところではあります。販売価格が高くなってしまふところから、今、どんな方法が良いのか考えております。総合計画の中で、これからの地区の開発についてどのようにしていくか、自治会と議員さんと相談して、取り組んでまいります。

市では現在、非常食であるアルファ米を44,500食、クラッカー・缶詰類を53,580食、備蓄し保管場所は主に小・中学校及び各地区センターに備蓄しています。当然、これだけでは足りませんので、自主防の皆さんにお願いしているところでありますが、3日間の水の確保、1週間の食料の備蓄をお願いしたいと思います。今、菊川市では自主防災会が活発にそして積極的に活動されています。これからも自主防の力を借りる中で、万が一災害があった場合は、まずは地域であるいは地区で対応していただければありがたい。トウカイゼロ、家具などの補助制度がありますので、是非活用いただき、身体だけは大丈夫という準備はお願いいたします。

地区会長

地区センターの件については、幼稚園の跡地に決定した。小学校の体育館の立替計画があると聞いているが、その辺と合わせてやれるのか。いつ頃からやれるのか、もう少し突っ込んでお話しいただきたい。

総務企画部長

今、自治会長さんから話がありましたとおり、東小の体育館建設計画があります。そちらの方の計画と、例えば位置、コミュニティセンターとの連携をどう図っていくか、東小の体育館の計画が、来年度から具体的な話になってまいりますので、その辺を踏まえて地域の皆さんと相談する中で、出来るだけ早く取り組んでまいります。

市長

合併して、5年以内になんとかするように話をしております。ここでいつと言うと、嶺田、南でも言われますので、もう少し具体的になりましたら相談させて下さい。私も早く作って、みなさんに喜んでいただきたいと思いますと考えております。

赤土上 男性

掛川浜岡バイパスの青葉通りから南側について説明して欲しい。

建設経済部長

青葉通りから南側は、県の核燃料税関係の事業で進めています。用地を買いながら進めておりますが、県の事業費のつきが悪くなっており、今年度は5,000万円確保しましたが、橋梁もあり事業費も大きく約20億円弱かかり、まだいつまでとはいえない状況です。現在、県で進めてもらっている市道川上嶺田線、サークルKのところまでが県事業の区間で、それより南はまだ、事業手法が決まっていない状況です。基本的には、県道掛川浜岡線のバイパスですので県にことある毎に、整備要望をしています。

棚草 男性

質問と要望ですが、コミュニティバスの停留所が和松会のところ1箇所しかない。棚草として後、4箇所要望したい。1箇所は和松会より西へ300m位行った、巡回道路のところ、2箇所目は公民館、3箇所目は森下和男さんの手前50mのところ、4箇所目は元北端工務店の所に1箇所是非お願いしたい。

三栄工業の所の歩道が、傷んで草がぼうぼうで歩くに歩けない状況。昨年自治会長からも建設課に申し入れ、私もこの4月に申し入れたが、未だに放置されている。明日にでも早急に対処して欲しい。2、3日前に接触事故にあった。学生が歩道が通れなくて車と接触、そんな事故があり大変危険です。早急にやって欲しい。

犬の糞の問題です。看板を2枚ほど市から貰ったが小さい。交通標識位大きなものとして、その内容も厳しいものにし、もしその人が見つかったら罰金制度を設けて欲しい。

ゴミステーションが4箇所設置されている。部落内ではないが夜捨てていく人がいて、その地域の班長が大変苦労している。ステーションに防犯カメラを設置して欲しい。そうすれば、誰が捨てたか分かる。

総務企画部長

コミュニティバスについては、合併の1つの目玉、主な事業です。昨年10月より試験運行、年間の変動もあり1年間を通じてデータ取りたいと言う事で、今年の10月まで現在やっております。10月までですので、もう少し今のままでやらせて欲しい。10月以降はどうなるかということですが、コミュニティバスと旧小笠町でやっていたタクシー券の助成事業、旧菊川町でやっていた福祉バスの3本の制度があります。それらをどういった形にすればいいか。現在の試行を踏まえて、検討していきますので、

その中で、今いただいた話を踏まえて検討してまいります。

建設経済部長

三栄工業の件でご指摘いただき申し訳ありません。私のほうで早速調査して対応いたします。予算は厳しいですが、市長も子育て支援や生活関連については、なるべく確保していこうとの考えであり、舗装の穴、通学に危険だというところがありましたら、情報として建設課へお願いします。そういったものは、なるべく対応して行きます。

福祉環境部長

犬の糞の関係につきましては、自治会長さんが中心の環自協があり、今年の事業の中で犬・猫のマナー、不法投棄に対して取り組んで行くと位置づけております。そのような取組みを考えておりますので、そういうところと相談させていただきます。ゴミステーションもマナーの問題で、朝晩の立ち番等の苦勞に頭が下がります。そのような時に持ち込まれるものは良いが、話しにありましたように夜間とか投げ捨てるように置いていかれるものが困るものです。市内にこういった箇所が何ヶ所もあり、全部に防犯カメラが設置できるかという問題があります。このような問題に何か言い方法がないか、検討させていただきます。

古谷 男性

市長にお聞きします。私の友人から嫁を探してくれと言われ、県内にはなかなかないので、栃木の方のいなかの知り合いに声を掛けて、いい話になりそうになったが、5月か6月の週刊現代に地震が発生して、浜岡原発から放射能が漏れ10時間で東京へ東京都民がパニックになって、北の栃木に行けば何とかなるだろうとの記事が載った。それを見た相手方の栃木の方から、静岡は絶対にいやという話があった。改めて、この地域における地震にプラスして原発というファクターが並存していることを感じた。こういう現状を考え、危機管理をどう考えているか。地震プラス浜岡原発を持ったこの地域の防災対策をどう考えているか。

市長

プルサーマル問題では、近隣4市の関係者が協議し、地震に対する安全性について、国に説明を求めるといふことでもあります。5号炉まで出来ており、地震に対しては大丈夫だということで、国の方での安全のお墨付きが出ておりますが、しかし、東海地震あるいは北陸の発電所の問題もありましたので、先般議会、執行部でも、中電、国、県に対して、地震に対する対応については、きちっと対応して欲しいと強く申し上

げたところであります。次に万が一、地震で災害が発生した時の危機管理でありませんが、菊川市では助役を筆頭に危機管理体制を作っております。御前崎にありますオフサイトセンターが逐次情報を出しまして、それに沿って菊川市として万が一の事故に対する対応、体制づくりをしているところであります。絶対にあってはならないことではありますが、今日、新聞もでておりましたが、あのような事故も発生しておりますので、とにかく中電、国に対して安全性の確保と近隣の市に対しての安全性に対するの情報提供ということは、常に考えているところであります。

菊川市としましては、おととい、中電を呼び、そして知事にも会いました。そして国に行きまして、隣接する市として、中電に対して市民はデリケートだから、その点は十分承知して欲しいと話しております。

当然、市民のみなさんの安全の確保と情報の伝達というものは、最優先してやるようお願いしておりますので、今後も皆さんの提案がありましたら、なんなりとお聞かせいただきたい。

川東 男性

昨年の市政懇談会で聞いた記憶では、建設委員会とかを立ち上げて、場所が早く決まったところから、やっていただけるといった記憶がありますが、私ども場所が決まりましたが、私どもの地区は何番目か。

コミュニティバスに乗ってくれる人がほとんどいないような気がする。この6月にダイヤ改正があったが、4月頃、川東の200m東にお客さんがいるが、川上のJAの所に行くか、古谷の公民館に行くしかない。それで病院に行って診察してすぐ帰らないと、帰れなくなるとの欠点があります。せっかくお客がいるのに止まるようにして欲しい。私の所でも公民館に止まるようにお願いします。

市長

コミュニティセンターについては、私から答えさせていただきます。熱心に検討していただいております。3箇所ありますので、競争になってはいけませんので、戻りまして内部で検討します。

川東 男性

よそは、決まっているのか。

市長

場所は決まったと聞いています。

総務企画部長

先程申し上げましたとおり、現在、試験的に運用しており、出来るだけ多くの方の意見を伺い、次のステップへの考えをまとめていきます。現時点では、申し訳ありませんが、停車位置も国土交通省に届けておりまして、じゃ明日からという返事ができないつらさもあり、運用の中でやれるかどうか検討させていただきます。

丹野 男性

一つお願いがあります。先程市長さんから、10年先を見て総合計画を策定しているとの話がありました。私の自治会にも沢地区と丹野原を結ぶ平坂線があります。その中間に区の霊園があります。また牧之原の静岡空港、牧之原インターチェンジにつながる重要な路線であります。最近の災害の状況を申し上げますと、16年の10月に8分目のところで大変な崩落が有り、旧小笠町で復旧してもらいました。今年に入り、5月3日霊園の200m下の山側が崩れ、市役所で処理してもらいました。6月15日、7月5日にも2 同じ場所が崩落しましたが、処理してもらいました。いずれにせよ、山あいをぬって行く道路ですので、災害で復旧、災害で復旧と大雨の都度、懸念しています。今、総合計画の策定の時期のようなので、どうか一度路線を見ていただいて、総合計画の中で抜本的な対策を考えていただきたい。ここは、地元で草刈等の管理をやっています。

市長

市道については、生活関連の事業となりますので、私の方で現場を見させていただきたい、今後どうするか考えさせていただきます。もう一つ、通学路ですが子供に事故があってはいけませんので、これについても対応させていただきたいと思っております。子供さん、お孫さんがあぶないなあというところがありましたら、是非話をいただきたいと思います。国道、県道となりますと県の仕事となり難しいところもありますが、市道の通学路で危険箇所がありましたら、話をいただきたいと思います。

建設経済部長

平坂線については、地元の重要路線と認識しております。2、3日前にも、通った方が岩が少し落ちていると言われましたので、直ぐに担当職員を向かわせ状況を確認いたしました。大降りしたときはパトロール等に気をつけています。総合計画の中でどういう方針を出すか検討してまいります。

古谷 男性

古谷と丹野地区のゴルフ場の跡地にヤマハの関係のお話があると聞きましたが、

現段階の状況をお聞かせ下さい。

市長

今、そのような話が来ております。助役が担当しておりますので、答えられる範囲でお答えさせていただきます。

助役

そのような話に来ていることは事実です。先般、会社からできれば進出させていただきたいとの要請がありました。できれば、今月中に地元の皆さんに、話をさせていただきたいと考えております。正式な構想図はありませんので、話がしにくいところがありますが、ご理解を得られれば、誘致させていただきたいと考えております。

花水木 男性

自主防の補助事業ですが、先日締め切りが有りましたが、どういう状況ですか。

安全課長

昨日が締め切りとさせていただき、集計中です。早い時期に採択通知等を出す予定でありますので、もう少しお待ち下さい。

花水木 男性

予算の中には納まりそうですか。

安全課長

昨日一杯で集計しきれいていませんので。

古谷 男性

コミュニティバスと介護の方と協力すればもっとうまくいくのではないのでしょうか。今から団塊の世代が退職。川根の奥でやっているボランティアを考えたらどうか。

目的と効果を重視した「選択と集中」とあるが、JRアンダーパス事業で、今年7億円、将来も続くと思いますが、そのために南地区が犠牲となっている。この事業の目的と効果を説明して欲しい。

市長

JRの事業ですが、これは5年間で完成される、短期集中型の事業です。それで単年度の事業費が大きく膨らんでいます。この事業は、旧菊川町の総合計画の事業で、

既に10年前から取り組んでいます。この中で、今年度から5年間でJRの本体の下をくぐる事業にかかるということで、10年前から用地買収、計画は進められていた事業ですのでご了解下さい。必要性については、当時、線路の北側は道路が整備されていない、もう一つは、第二東名やバイパスへのアクセス道路が欲しいとの計画がありました。また、駅北側の開発、中心市街地の活性化などの仕事を続けておりました。非常に大きな金額となりますが、10年、20年後を見据えた菊川市として必要な事業として、議会の理解をいただく中で取り組んでまいります。この事業をやったから、南の事業が減るのではないかとの話をいただきましたが2、3年は、ここにお金がかかるかもしれませんが、バランスを取りながら、空港の問題、東側の開発、掛浜バイパスの南部の道とかアンバランスにならないように、取り組んでまいります。

総務企画部長

先程、お客さんが少ないとの意見もありましたが、今のやり方が一番良いかを含めて、全体的にどうやって足を確保しようか、担当を中心に話をしています。その中で介護でやっている有償送迎バス、川根の方でやっているやりかた、つい先日もあのようなやり方ができないかとの話が、事務レベルで出ました。ただ、実際にやろうとするとどんな問題が出るか、詰めておく必要があります。そう言ったことも含めて、色々な形を検討していきます。提言もいただけるとありがたいです。

古谷 男性

JRですけれど、また新幹線の下もあるわけですね。本当に効果があるのですか。

市長

これからは、既存の道路とかを使って整備していきます。公共事業というのは、国からの補助、起債、借金の借入条件とかは、毎年要件が変わっていく。そういうものを上手に使うようにしたい。新幹線をオーバブリッジで越すことは、私のいる間は考えていません。

川中 男性

ゴミのマナーの悪い方が多い。私の町内でも交替でゴミステーションに出て、不法に出されたゴミの処理に当たって下さっている。結局誤った出し方がしてあっても、役員の方がきれいにしてしまうので、出した人は何の痛みを感じない。やってくれるのではないか、間違っても何でもないということがまかり通っている。改善するためのアイデアを募集して欲しい。要望です。

小笠南地区 市政懇談会

日時 平成 18 年 7 月 18 日 19 時から

会場 河東構造改善センター

参加者数 42 人

懇談(質疑応答)

河東中 男性

一つ目は市民と行政の協働の確立です。現実の問題として、小笠町にあった女性の会がなくなりました。花を植えたり、掃除をしたり、協力的なボランティアの予算を削り、自治会にやれと言われても。

もう一つは老人会の助成であります。南地区でも一つが休止状態。会長をやっていただける方がいない。支援がない。老人会に加入している人が少ない。そういう分析は市でやっているか。

もう一つは、掛川浜岡バイパス。平川までは計画が出来ているが、そこから佐栗谷までの説明を。

市長

懸案の道路と承知しています。平川、奈良野間 2.2 km を合併特例債、県の支援事業により早期にと取り掛かっています。御前崎から掛川まで、産業道路としての整備を、赤堀県議ともども県に求めています。市の道路整備として、最重要課題として考えております。今年度中にもう一度、県と協議するなかで、方向性を示していきたいと思えます。

福祉環境部長

老人クラブは個人が所属することで組織化されています。クラブに対しては、加入者数に応じて助成させていただいています。どんどん減少し、菊川ではほぼ全滅してきています。老人クラブには、国、県の縦系列があり、役になるとお役ばかり廻ってきて大変、そこがネックとなっています。補助金をもらうとなると、事業計画、予算計画などがどうなっているか、そういう事務をやりたくないと言っている役員の方がありません。社協には、そういう事務を軽減できるようお手伝いして欲しいと言っています。組織が解散しても活動はやっています。家で 1 人であるよりは、サロンのなところで、井戸端会議が好まれるようです。そういうことに取り組みたいと考えています。

教育長

女性の会が廃止になって、私も残念に思います。名前を婦人の会から女性の会に、4、5年前に改名、積極的な活動を展開していました。おとし、合併と同時に解散したいと申出があり、理由を聞いてみますと菊川地区にはそういうものがなく、小笠地区だけで活動することは難しい、小笠地区だけで活動するのは不自然とのことでした。時間をおいて復帰したらどうかと投げかけたら、2、3年、考えさせて欲しいとのことで、私も承諾しました。非常に残念で仕方ありません。また、機会があれば組織作りに協力したいと思います。

河東中 男性

一つひとつのものに対する指導、取りまとめて地域としてどうしていくのか。設立についての指導をしてきたのか。様々な団体があって活動していた。菊川に無いから小笠にあったものを廃止するものが多い。

市長

各団体に事務局が行って、会合をおこなってきたと聞いています。行政主導ではなく、協働による地域づくりを職員に指導しています。市としても出来る限りの支援をしたいと考えています。

河東中 男性

みどり次世代とあるが、みどりとはお茶なのか、自然なのか。手の入った自然なのか。この地域は、谷が分かれ、谷を中心として生活が営まれています。道路も狭い。ここで次世代が育つのか。河東地区に光をあてて欲しい。私が班長をやっている時に火事があり、消防車が入って来れなかった。救急車も入れない所もある。県政、市政の谷間と考えるがどうか。

市長

みどりには、茶、環境のイメージがある。次世代とは夢があり希望の持てる地域づくり。一部だけが良くなることが良いとは考えていません。河東地区の良いところはたくさんある。地域をどうしていくか、自分たちの地域の方向性を出してもらいたい。行政も協力します。潮海寺というところがあります。自分たちでまちづくり計画を作っている。参考にして下さい。

河東中 男性

水田農業の担い手がいらない。市として水田農業をどう考えているか。お茶も今年はダメ、米もダメ。菊川市の農業政策をどう考えているのか。

市長

工業は、今注目を浴びています。商業と農業を気にしています。農業に対する考え方を出していかなければなりません。10月までに総合計画策定し、その中で農業について位置づけていきたいと思います。お茶については特に振興策を考えていききたい、農業後継者問題は菊川市として重要政策として考えていきます。

河東中 男性

老人が増え、医療費が増える。福祉も今後もさらに多くなると思われる。病気になる前に予防する予防医学が注目を集めている。サークル活動が予防医学に役立つと思うが、ソフトボール協会も衰退している。現在市内で28チーム、内1チームはシニアもあるため、実質27チーム。菊川からは4チームしかない。スポーツ、クラブ活動など元気になるような活動が衰退している。アンチエイジングに逆行していると思う。シニアチームを作ろうと考えているが、クラブ活動をする人が増えていくべきで、組織化を指導するのが行政と思うが。住民が考えて下さいも一理あるが、全体的な市民サービスを考える課があっても良いと考える。

市長

行政も医療費の抑制、予防に力も入れています。健康づくり計画に数値を掲げて取り組んでいます。保健予防にと教育委員会でも、体育協会、スポーツ少年団等の振興に力を入れています。健康に対する意識を上げる、検診のメニューもいろいろあるので、是非受診をお願いします。市としましても、保健予防にはキッチリ対応していきたくと考えております。

促進 男性

促進住宅は30年で廃止と通知がきたが、市には連絡はないか。

市長

事業団がなくなることは聞いているが、資産をどうするかは不明です。調べて報告します。

促進 男性

新しい所、入居率が高い所は、民営または市営と聞いているが。市はどう考えますか。

市長

調べまして報告いたします。

河東西 男性

自治会長をやって不思議に思ったが、12万円もらい、5万円を土木委員に支払う。歳費相当分とは、なぜ、土木委員に自治会から5万円払うのか。

交通安全会費を300円集めているが、その使い道は。収支決算書の報告はないのか。

地域支援課長

行政事務委託料として支払いました。土木委員、自治会長分を計算して支払いました。

総務企画部長

交通安全会費については早速、所管課で調べさせます。決算を報告する方向で調整します。

河東中 男性

委託料として払っているなら、個人、個人に分けてはいけないのか。

地域支援課長

自治会により扱い方が様々です。

河東中 男性

委託契約を結んでないのはおかしくないか。

地域支援課長

契約が必要ということでしたら、その旨を伝えます。役務に対する費用です。

河東東 男性

生涯学習委員会をしているが、活動費が出ない。

税金が高いと思うが、収入源になるような計画はないのか。

教育文化部長

生涯学習委員会については、各自治会に1名お願いしており、先日、中央公民館で説明させていただきました。各地区で生涯学習の推進をお願いしたいというものです。全地区で補助金は出ておりません。地区センター、社会教育委員、体育指導員と連携をしながら、生涯学習を推進してもらえればと思う。自治会の中から活動費を受けながら、活動しているところもある。

市長

税収の確保については、国の財政も厳しい中、重要な問題です。今作成中の総合計画の中で、企業を誘致したり、住みやすい地域を目指し、定住人口を増やしていきます。また滞納を無くす努力をしています。菊川市の税率は標準です。

河東東 男性

生涯学習の手当て、活動費を考えているか。

教育文化部長

地域の中でやってもらうということで、予算化は考えていません。ある地区では、出前講座を呼んで、血圧を測ったり健康講座をやったりし、コーディネーター役を担っている所もある。

河東東 男性

南地区でやっているところがありますか。その指導をしっかりと欲しい。予算化をするとか。

教育文化部長

市では考えていない。地区で考えてもらいたい。現在ある制度を使ってもらいたい。

河東東 男性

南の地区でやっている人はない。通学路の草刈を2回やりました。もう少し指導をしっかりとって欲しい。

教育文化部長

職員も出向いて、地域の皆さんと話をする用意があります。

加茂地区 市政懇談会

日時 平成 18 年 7 月 28 日 19 時から

会場 加茂地区センター

参加者数 50 人

懇談(質疑応答)

三軒家 男性

コミュニティバスが走っていますが、利用されている方に聞きますと三軒家のミナクルで乗って、そのまま病院まで行けば5分か10分で行けますが、駅の方、仲島を廻り、景色をながめるなら良いが、早く行って早く帰りたい時はつらい。ガソリンスタンドから160円で路線バスに乗るかタクシーに乗ってしまう。よく循環式のバスがありますが、内回り、外回りなども考えてもらう必要があると思う。

市立病院の件ですが、医師不足について良く聞きます。NHKで見たのですが、確か新城の病院だったと思いますが、極端に医師不足と聞きました。余っている病院もあると出ていましたが、新しく入ってくる医師への教育をしっかりやっているところは、不足していないと聞きますが、菊川病院では、どんな医師への教育をやっているのか。考え方を換えれば、そんな医師不足の問題も解消できるのではないかと思うがどうでしょうか。

3つ目ですが、市役所に行って感じることは、会った時、すれ違った時に挨拶をしてもいいと思う。してくれる人もいっぱいいるが、してくれない人もいっぱいいる。全員がちゃんとやらなければいい役所だなーとは思わない。みんな市役所へいきたいなあというには、感じが良い、ちょっとしたことにも親切ということが大事なことだと思う。是非、改善して欲しい。

市長

コミュニティバスについては平成16年度から導入について検討してきました。新市まちづくり計画に載せられており、今、実証実験中でこの秋頃には、あり方について考えようとしています。時間がかかる、停留所が欲しいなど、いろいろな意見をもらっていますが、途中で変えると実験がぶれてしまいます。もう少し時間をいただいて検討させていただきたいと思います。

菊川病院には脳外科と精神科がありません。精神科については来年の4月には浜松医大から2人ないしは3人の医師を派遣してもらえよう、お願いしています。皆さんにご迷惑をおかけして申し訳ありません。具体的には事務長が来ておりますので、説明させます。

接遇につきましては、皆さんに気持ちが良いと言われるように目指しておりますので、笑顔で挨拶できますように指導に務めてまいります。

病院事務長

全国的に医師不足ということは、皆さん報道等でご存知かと思えます。先程言われた市では国の支援をいただき検討しましたが、それでも医師が集まらず、名古屋の方からヘリコプターをチャーターして出勤し、晩になれば大学に帰るとのことのようです。菊川病院については、まだそれほどひどくはありません。袋井病院では40%位、掛川病院でも30から40%の医師が減っています。袋井で研修をやっていた方が、菊川が良いということで、2名来ていただいております。菊川は評価が良いと思っております。ただ脳外科、眼科は大学でも医師が足りないということで、多少無理になっております。大学にお願いして、確保を求めて行きたいと思っておりますので、よろしく願います。

白岩下 男性

コミュニティバスのルートというかバス停の数について、他からも増やして欲しいとの要望が上がっているとお聞きしましたが、加茂地区はまちなかルートに面している方は利便性が高いですが、そこから外れていますと間隔が広く歩いていかなければなりません。公共施設、商業施設が郊外に分散している中、車を使わざるを得ません。高齢化が進む中、両親とかを見ていると車は止めてもらいたいと思う。公共交通機関があればありがたいが、バス停まで歩くとなると。路線を増やすのは、無理でもバス停を増やすことは容易ではないかと思えます。バス停を増やすとともに、病院、駅、商業施設など生活上必要な施設へ廻っていただければありがたい。

地域支援課長

コミュニティバスについて、バス停の数、ルートを変えてくれなどなど色々な意見をいただきます。バスということで実証実験に入っており、定時、定路線でやっています。必要以上にバス停を増やせば利便性は上がりますが、効率性が下がります。掛浜線の静鉄の路線バスと競合しないようにバス路線を組んでいます。その検討も必要となります。菊川市の場合、福祉バス、福祉タクシー、コミュニティバス、福祉タクシー券と混在しており、整理する必要があります。これらを整理するとともに、実証実験中であるルート全てを、福祉バス、福祉タクシーをひっくめて検討させていただきます。タクシーと違い、バス路線ですので全ての利便性を満足することは難しいことをご理解いただきたいと思います。私どもも、多くの皆さんにご利用いただけるバスでなくてはならないと考えております。

三軒家 男性

少子化高齢化が問題になっていますが、菊川でもひどい。先日、出前講座でこどもみらい課長さんに教えてもらったが、聞きますと一人の女性が子どもを生む数も減ったが、結婚していない人も多いと聞きました。市でも結婚に対して何かやっっているだろうが、結婚が大事だと思う。計画の中でもその部分がおいていかれてると思う。何か結婚できる策、いい手立てはないでしょうか。子育てもいいが、結婚に力を入れたらどうかと思います。

同報無線が各家庭全部に入っていないらしい。外での放送は反響がひどく聞きにくい。家庭の中に置く、スピーカーは手に入らないのですかと聞いたら、安全課では直ぐに手に入らないとのことを聞きましたが、今月は各地で水害が多いので、菊川市もあのような状態にならないとは限らないので、欲しい人には直ぐに対応できるかどうかお聞きしたい。

市長

結婚について、いい意見があれば是非教えて下さい。結婚できるような環境づくりにまずしようと取り組んでいます。結婚しろ、産めでは産みません。子供のいる世代の皆さんが、仕事に従事できる、安心して子供を預けられる、教育ができるという幅広い方向で進めています。企業の皆さん、地域の皆さんの意見を聞きながら進めています。結婚したくなるような方法がありましたら、教えてください。

防災無線の件ですが、小笠と菊川では同報無線が違うため、中期的に整備していると考えています。電波法の規制があり、1市1電波、デジタル化とかの問題があり、なかなか大変です。今はまず、公共の無線整備から取り組んでおり、順次自主防の防災無線に協議しながら取り組んでいきます。同報無線も災害向けだけでなく、情報連絡ツールと考えています。非常に重要なことですので、なるべく早いうちに方向を出していきたいと思っています。

総務企画部長

市長が申しあげました通り、小笠と菊川では周波数が違っていましたし、同報無線の整備の仕方も若干違いました。簡単に言いますと、外のスピーカーの数、密度は菊川の方が厚く、その代わり小笠は全ての家庭に個別受信機を配布しています。菊川でも各家庭に配布していましたが100%行きわたっていないと聞いています。最終的には、菊川市を一つの周波数で新しい方法で整備しなおすことが目的ですが、それまでのつなぎとして、いい方法が取れないか検討しています。県内でも色々なやり方があり、例えばFMのラジオでやる方法もあるようです。少し検討させていただき、出来るだけ早い時期に、どこでも同報無線の情報が行きわたるようにしたいと考えております。少し時間をいただきたいと思います。

西袋 男性

個人情報保護法をどうとらえて、職員に徹底しているかということをお聞きします。先日、私のところに郵送されてきた、健康診断の書類を見ると、名前、生年月日、年齢まで見えてしまう。その書類を見ると事務をやる人がやりやすいように出来ている。名前、生年月日が表に出ている。こういうものを発行することが良いのか、お聞きしたい。

市長

個人情報、守らなければならない重要なことだと思います。郵送について内部で検討させていただき、連絡をさせていただきます。

西袋 男性

堂坂橋の開通についての、具体的なことをお聞きしたいと思います。

建設経済部長

現在は橋梁工事をさせていただいております。12月中には工事が終わると県からは聞いています。前後の道路、交差点、ライン、交通規制もあり、その辺を含めて、供用開始の日程について、地元自治会に事前に流して対応していきます。

三軒家 男性

児童クラブについてお聞きします。放課後児童クラブの終わりが17時30分になっています。延長を希望する人が結構います。出前講座で、こどもみらい課長の話を知ると、18時までの延長を検討しているとのことを聞きました。時間延長を希望する人はどちらかと言うと母子家庭の人が多く、どうしても生活を守るために遅くまで仕事をしなければならない人がいます。私どもが地区センターを利用して児童クラブをやっていた時も、お迎えが6時30分になったり7時近くなったりしたことが度々あった。そのような方の希望を入れ、6時が良いのか、民間施設との連携も考えると、その辺についてお聞かせ下さい。

福祉環境部長

加茂地区には昨年12月完成しました。現在は市内全ての施設で一律、5時30分で統一させてもらっています。今後は内容の充実を図っていきたいと思います。時間延長も言われておりますので、6時が良いのか、7時が良いのかそのような検討に入っていきます。担当では、6時でも良いのではと検討しています。もう少し検討させていただく中で充実させていきたいと思います。

三軒家 男性

私たちが実際にやっていた時は、5時30分では間に合わないといったことで、あきらめた方もいました。その辺のところを充分考えていただきたいと思います。

白岩下 男性

コミュニティ検討委員会からの答申があったということだが、その内容とスケジュールを教えて欲しい。

地域支援課長

平成18年3月にコミュニティ協議会の検討委員会の皆さんから、答申をいただきました。指針の概要のパンフレットを作りまして、各地区で自治会長さんとかに説明をさせていただいています。なぜコミュニティ協議会が必要とされているか、背景が明確でなかったのも、そのあたりをパンフレットに分かりやすく書いてあります。なぜコミュニティ協議会が必要か、一つの例を挙げますと、子どもが犯罪にあうことが増えました。隣り近所の関係が希薄となったことが原因、希薄となった関係を元に戻すことが目的として、コミュニティ協議会の活動に位置づけられています。自治会、老人会、PTAなど色々な団体が協力してやっていけば、住みやすい地域となります。自治会だけでやるのは大変だということで、役割を分担して地域をよくしたいということ、説明させていただいております。是非、ご協力をお願いします。

地区会長

加茂幼稚園の通園の駐車場が、はっきりしたものがなく危ない。将来的な幼稚園の駐車場の構想はあるのか。その辺をお聞きしたい。

次に、小規模公園の管理について、平成19年度から自治会管理になるとの話が出ているが、小規模公園を観察すると利用度が非常に低い。本当に小規模公園を継続して管理していく必要があるかが問われていると思う。その辺りの取り組み姿勢についてお聞きしたい。

3つ目として、各地区から新年度予算に向けた建設関係の要望を出しますが、施工時期等について聞かなくてはわからない。不信感を持っています。中間的な公表ができないか。その辺についてお聞きします。

教育文化部長

加茂幼稚園の駐車場の件ですが、現状、地区センター駐車場を借りて使ってもらっています。加茂幼稚園の建設について、総合計画の中で検討させていただきます。その中で位置、規模が出てまいりますので、その中で検討してまいります。行事等で困

るということで、区画整理組合にお願いして西袋公園を借りております。保留地等も借りて、その辺を有効に活用して、当面は対応していきたいと考えております。

総務企画部長

現在市内には43の公園の他、地域で管理していただいている児童遊園、農村公園があります。特に地域に密着した小さな公園については、それぞれの地域で色々な使い方をいただいています。市での管理では、どうしてもみんな同じような管理になってしまいます。主体的に使われているところについては、ご相談の上での話しですが地域のほうで管理いただければとの考えから、お願いの話を出そうとしているところであります。地域で管理いただければ、その辺も含めて提言いただければ、それに出来るだけ沿うような形で対処していきたいと思っております。

建設経済部長

各自治会より色々な要望をいただいています。要望を取りまとめて、限られた予算の中で、優先順位をつけて工事等に取り組みさせていただいておりますが、最近に限られた予算の中ですので、維持管理が優先されてしまい、新規事業になかなか入っていけない現状です。要望に対しての中間報告については、要望に対しての各案件について措置票を作り、聞いた本人だけでなく課内の者がある程度分かるようにと、どんな対応をしたかを書類として取っております。自治会等関係者になるべく早く伝えるように指導しています。危険だということについては、なるべく早く対応したいと思っております。

三軒家 男性

心の生涯学習ということで、セミナーを開催させていただいています。社会教育課の職員には是非来ていただきたい。8月にけやきで講演会を開きます。

教育長

今度から、出席するように指導します。

白岩段 男性

東海沖地震に対して、自主防災、自治会、あるいは市で真剣に取り組んでいると聞きますが、よく分からないことがあります。この地域には数多くの企業があります。身の回りの企業でどのような災害が発生するのか、製造業だと爆発事故があるかもしれない、汚水が出るかもしれません。そういったことに対して管理は市でやるかわかりませんが、災害が発生すれば自治会への情報提供があるのか。そのような事故に対して、市はどのような管理をしているのか、報告を求めているのか。そういったことに

対して、あまり報告をいただいている。いままでは事故が無かったが、原発だけでなく東海地震に対して、地元の企業についての情報提供があってもいいのではないかと。管理をどのようにやられているかを教えていただきたい。

職員は要望に対して措置票を回すとのことだが、建設課では把握しているだけでなく、各自治会などに速やかに、報告とか再考を求むなどの報告をしていただければ、もう少し良い自治会活動が出来ると思います。回答をお願いします。

市長

おかげさまで、菊川市は企業を誘致する用地が無く、新たな企業を誘致する用地を総合計画の中で位置づけたいと考えております。一つの例で言いますと、進出希望があれば商工観光課が窓口となり、話し合いの中でどんな企業が、県と連携をとる中で、菊川市に合った、望む企業がチェックさせていただいています。あまり厳しすぎますと、進出企業がなくなりますので、法に抵触しない部分のチェックはさせていただきます。させてするとともに、次に環境部門が個別に水質汚濁、臭いなどの協議を行います。数年前に臭気の問題がある企業が進出しまして、町民の皆さんに迷惑をお掛けしました。その時は臭気指数を設けたり、協定を結んだりして対応いたしました。一方、市を通さずに進出するものについては、商工会等の団体と連携をとる中、指導してまいります。優良企業が菊川市に進出して欲しい、市の財源確保には、企業誘致が必要となってまいります。開発か自然保護か、菊川市にとって重要な選択になるかと思っておりますので、慎重に取り組んでまいります。

建設経済部長

地元と行政の信頼関係が重要です。不手際があるようでしたら、その辺を徹底いたします。

西袋 男性

菊川市の下水道の普及率は6%で42市町で最下位、県平均が51%です。インフラの整備が人口増加、少子化対策にも効果があると思います。生活の上で、下水の処理は緊急、重要な課題であります。下水道の進捗状況について回答いただきたい。

市長

公共下水道につきましては、加茂地区の皆さんに、ご協力をいただいております。菊川市の公共下水道の普及率が低いのは事実です。厳しい財政状況のなかで、平成11年から、10年後、20年後を考え下水道事業に取り組んでいます。菊川市では、水質浄化に公共下水道、合併浄化槽、コミュニティプラントの3つで対応しています。名前を河川菊川から取りました、菊川市としては汚水を河川に流すのはつらいと思っ

ております。一日でも早く水質浄化に取り組んでいきたいと思っておりますが、公共下水は長いスパンと事業費もかさみます。財政状況を見ながらどのような水質浄化をするのが、菊川市にとって有利な手法であるかを考えながら取り組んでいます。加茂地区白岩東の普及率が一番高いとの数字も出ています。配管してもつないでいただかないと意味がありません。菊川市独自の優遇策がありますのでよろしくお願いいたします。環境問題は重要な問題です。市としても重点施策として取り組んでまいります。

都市計画課長

行政人口を分母にして、処理区域人口を割ったのが下水道普及率です。下水道は始めてから10年、20年はかかると言われています。平成17年度末の普及率が約80%、県の平均が51%。まだまだ進めていかなくてはと思っております。進捗状況は、現在、第2期目の整備にかかっており、ざらっと言うとクミアイ科学のところの浄化センターからJR東海道線まで、東は東中まで、一部入っていないところもありますが、261haを平成22年度までに整備を進めたいと計画しております。261ha、全体の35%の整備が22年度までに進みますと加茂地区の大半の整備が進みます。色々な説明会を開催しますので、是非出席をお願いします。

三軒家 男性

7月から9月までの3ヶ月間、各自治会で無事故、無違反コンクールをやっているかと思えます。その結果を教えてもらえないのはなぜか。どんな事故があって表彰の対象から外れたというようなことを教えて欲しい。表彰されても理解していないところもあったみたい。せめて評価と中身がこうだったと報告して欲しい。そうでないと、みんな力が入らなくなる。その辺りの姿勢が悪い。姿勢を聞きたい。

総務企画部長

誠に申し訳ありません。外れた理由を説明するのは当然である。違反した方もあったので言いにくかったのではないかと思います。持ち帰りまして、出せない理由があれば別ですが、基本的にはお知らせしていく方向で検討します。

内田地区 市政懇談会

日時 平成 18 年 7 月 29 日 19 時から

会場 内田地区センター

参加者数 71人

懇談(質疑応答)

内田地区より

南部農村公園グラウンドの整備について

県道小笠掛川線に架かる籠田橋、高田橋の歩道設置の要望について

栗原川上流部での開発に伴う川の設計について

籠田橋から上流部の児童転落防止策の設置について

市長

グリの件については、最初の頃は地域の皆さんで考えて有効に利用して下さいと言っていました。西方の運動場を芝生にするということで、当面、代替の施設として整備することを計画しております。大きなお金は掛けられませんが、表土をすき取りしまして、良い土を入れまして整地、転圧の計画でいます。当然、サッカー、グラウンドゴルフ、ソフトボールが出来るように整備したいと考えております。将来的にずっとではありませんので、どのように活用していくか内田地区の方と一緒に考えて行きたいと思えます。

通学路ということで、2つの橋の歩道整備の要望ですが、小笠掛川線については県に対しまして強く要望しておりますが、一方で柳橋の改築を早期に完了したいとの県の思いもあり、財政的にあれもこれもは難しい状況です。市としましても、優先順位を少しでも上げて、通学路につきましては、早期にお願いしたいと県にお願いしております。

栗原川ですが、県管理ですので県の河川整備基準で行われています。上流部の開発につきましては、大型の開発では一般的に調整池が作られ開発がされても、いったん水を出さないとのルールがあり、心配はいりませんが、小さな開発については、そのルールが適用されませんので、菊川市としても、掛川市と連携を取り、下流部に住む住民が、雨水の心配がないように、掛川市とも情報交換していきたいと考えています。

上小笠川の通学路の柵ですが、確かに政所の公会堂から上について危険だと思います。50m位の整備と聞いています。早期にやってもらえるようにお願いします。

建設経済部長

県道小笠掛川線の高田橋、籠田橋の歩道橋については、毎年要望をいただいております。柳橋については、地権者の協力をいただき、仮橋が出来き工事が本格的になっていこうという段階で、県としましては、重点的に柳橋の部分ということです。その目途が立ったところで、次の段階に進んで行くということで、ご了解をお願いします。

栗原川の上流部の開発事業については、河川管理者との協議を事前に行うということになっております。県の基準に合わせてやっており、雨量10分の1確立、計画断面につきましては、毎秒47t流せる計画断面でやっており、計画に沿って整備を進めているとのことです。

政所の転落防止柵は、上流部へ約50mを考えています。まだ要望に対して、万全ではありません。継続的に地元と相談しながら、整備を進めて行きたいと思っております。

稲荷部 男性

稲荷部川は2、3年に1回は溢れ出てしまう。これを毎年、市にも言っているが、なかなか前に進んでこない。その辺の回答をお願いしたい。

猛暑になると農道なんかの舗装が膨れ上がって危険な箇所がある。堤防が陥没しているところがあるが、言っているはあるが、出来るだけ早い対応をお願いしたい。

市長

稲荷部の皆さんには、河川愛護でご協力をいただきありがとうございます。国の管理になるため、年に2回、名古屋と東京に行って要望を行っています。要望箇所が20箇所あるうち、優先順位が上から3番目、なかなか3番目まで行かなくて申し訳ないと思っております。大東の下小笠川の捷水路工事が終わりました。次に国安川の砂がたまっているのが取れば、流下能力が高まり、本川の水位が下がると国は考えています。昨年、菊川の基本方針を出し、今年は基本計画が作られます。その中で、重要な事業が位置づけられることと思います。その中に、稲荷部川についても国に強く申し入れたいと思っております。国の方に1日でも早く、着手できるように話をしてみたいです。今年度ある程度方針が出ますので、お待ち下さい。

建設経済部長

道路については、悪いところ、クラックとか段差が目立ち、地元の皆さんに迷惑をかけています。管理費についての予算確保に努力していますが、足りていない現状があります。危険な箇所がありましたら、役場、職員になるべく早く教えてください。業者に頼むと遅くなる時は、職員が直接出向いてやっています。我々も道路のパトロール

もやっていますが、見つけれない時もあります。危険な箇所があれば、通報をお願いします。

稲荷部 八木

稲荷部から高田へ行く道、拡幅してもらいましたが、コンクリートの柵を付けて終わったようなことになっている。工事をやる時に、こうしたいとの考えがあったと思うが、途中で予算の関係で、ここからは広げないと、途中で終わってしまっている。ちゃんとこういう理由で、出来なくなったと言ってくれんと。それがされずに終わっているものが多すぎると思う。稲荷部の主幹道路をいつまでもやらずに、このような時にどうかでは、言うのもたいげになる。そういうところはシステムの考えて欲しい。

内田は100選等の関係で、他にも進めるとの話もあり、自治会等へ直ぐに話をしていますが、もうすこし動かす人を、自治会もいいが、自分もそうだったが、自治会は普通は1年、そういうところにボランティアとかを頼んでも、出来たか、出来んだか分からないうちに、変わってしまうということもあります。やり方として、地域のボランティアを入れて組織したほうが、良いと思う。昔と違って、大きくなって小学校の数が増えた。内田小とかなどと、小さいことを言わずに、全部が独自にそれぞれの立場で、考えるような行政を敷いていただいた方が良い。そういう組織があれば、例えば交通安全のことをやらっかなあーと言えばすぐ出来る。忙しい自治会長を何しろ使わなきゃダメということと、作業するということと、どうするというところを分ける。集めるばかりを考えずに、分割することを考えて。全国から菊川へ来れば、なかなか変わっていると言われるような、活動をするようにお願いしたい。答えはいりません。

稲荷部 男性

川と道の話ばかりで申し訳ないが、稲荷部を南に行くと船渡橋と水門の間は、片側が山で、片側が川、がけっぴちの道路でガードレールがない。少し下がるとガードレールがある。その道を使うのは稲荷部の人、危険だなと思うが、掛川市に伝えないとだめか、いい解決方法がないかと思う。

建設経済部長

行政境では調整が難しく、こういう問題が出る可能性があります。今聞いた話を掛川市と調整してみます。自治会長さんを通じて返事をさせていただきます。

稲荷部 男性

稲荷部の人があるが、土地の所有者は掛川の人。そういうことを承知して上手に話をして欲しい。

女性

アパートの管理をたくさんやっています。山の中に布団が捨ててある写真が広報に掲載していました。小笠と菊川でアパート200戸ほど管理していますが、アパートの住人に布団やカーペットをどうしているか聞いてみると、わからないと言うひが多い。おばあちゃんなどにも布団を持って行って欲しいと頼まれた。布団やカーペットのようなものを回収する日を年に2回位設けてもらえるとありがたい。お年寄りとか、若い人で昼間働いていて、捨てれない人もいると思う。捨てる日を作って欲しい。

小笠支所のリサイクルステーションみたいなものを、菊川にも作ってもらえればいいなあーと思う。考えて下さい。

私のアパートの9割は外国人。市県民税、水道料の納付書が来ていたが納税者も多い。ぼくら一生懸命払うが、市では何もしてくれないと言っていた。市の人と話したら、ポルトガル語のカレンダーを作っていると言われたが、少し何か思いやりがあっても良いのではないかと、外国人とのつきあいの中で思います。日本側が一方的なような気がしないでもない。何をしてやったら良いか分かりませんが、ご検討下さい。

市長

環境問題についての重要な提言、ありがとうございます。市民の皆さんには分別に協力ありがとうございます。菊川市は県下でも資源ごみの回収はトップクラス、環境委員さんには、ご理解をいただき環境の充実に協力をいただき感謝申し上げます。昨年、満水に焼却場を作り、それを1年でも長く有効に使うための、今後の運営について検討しています。不法投棄の問題もあり、布団、家具など大型のものについて、内部で調整したいと思います。

外国人についてであります。ポルトガル語の話せる外国人の方に市役所にいていただいております。外国人との交流につきましては、今、菊川市では8%、4千から5千人位の方が生活されています。非常に外国人の方が多いです。これから、市と外国人の方と交流して、外国人の方がどのように思っているのか、ゴミの出し方とかありますので、一度外国人の方と話し合いをさせていただき、外国人の方がどのようなことを望まれているのか、また、私たちがどのようなことをお願いしたいか、一度やらせてもらいます。

小笠支所の分別収集のところのことですが、三沢と棚草の昔の保全センターのところで、その業務を担当しております。あくまでも環境を良くする、分別収集ということで取り組んでおりますので、その点を是非ご理解をいただきたいと思います。市としましては、有効なものについては取り組んでまいりますが、缶、ペットボトルについては、小笠のところに持って行っていただきたいと思います。施設をたくさん置くことができません。また、私達も施設がどういう風にあるということ、広報しながらやっていきたいと思っております。

六郷地区 市政懇談会

日時 平成 18 年 8 月 2 日 19 時から

会場 六郷地区センター

参加者数 67 人

市長挨拶(行政報告)に続き、菊川病院長から、病院の状況について説明

懇談(質疑応答)

五丁目上 男性

一つ目は要望です。市民税の定率減税が無くなり、税収が前年度に比べだいたい1億円増収になっているようです。景気が良くなって生み出されたものでなく、年金生活者は年金は変わらないが、税金は上がっている。1億円強の増収があった。歳入がこれだけ増えた、歳出がこうと、成績が良かったと発表して欲しくない。なぜかという、収入は変わらないが、税金の掛ける式が変わってきている。特に公的年金の人は、20万円位は税金の対象が増える試算となった。今までは公的年金控除が140万円、それに125万円以下は非課税対象にするという法律があり、これが廃止された。年収260万円の人は非課税であった。今年は120万円しか控除してくれなくなり、前まで市民税、国税がかからなかった人も両方かかるようになった。年金受給者は、大変な思いをして出している。そこでお願いがあります。市としては自主財源となります、1億円の市税が余分に入った。その使い道に対しては、十分に検討して大切に使う欲しい。これは要望です。

合併前に10年間で35億円削減しますと言った。集中改革プランでは、5年間で37人減らすとなっています。もう一つの資料で、平成17年3月31日現在の県内の市町村の人口千人当たり、何人の職員がいますとの資料があります。8.4人。これは、多いほうから24市町の内7位、あまり成績が良くない。隣の掛川では7.1人。順位で15番目。まあ真ん中です。県の平均が7.2人。50人減らして平均値になる。37人では、まだ少ないのではないかと考えます。そこに持ってきて残業が多い。1億1千万円、これは広報きくがわに載っています。これを見ると、今の人員で月15時間、1年間で170時間になります。賞与を入れて20人分の給与となります。その位残業に費やしている。残業を減らして欲しい。普通の会社は、仕事が減ってくれば定時になる。現在の菊川市にそんな余裕があるのか。1億1千万円は、血税と同じ位。汗を流して出しても残業で消えてしまう。どのように残業を減らすか是非取り組んで欲しい。役所は5時になれば、お客さんを入れない。切ろうと思えば切ることができる。やろうと思えば出来る。人の配列もそう。作業を細分化しているため、その人しか分からない。今は

職員同士で顔を合わせるような机の並べ方は少ない。銀行なんかは、みんなお客の方を向いている。だから人と話ができない。

総務企画部長

当然のことですが、この税に限らず慎重かつ有効に使わせていただきます。税制改革の中で税収が増えたことは事実です。ただ市税が増えた分だけ、交付税が減らされておりますので、市の暮らしが楽になったということではありません。職員の数え方のも色々あります。普通会計職員385人、それには、病院、国保、水道、介護などを除いた数字で385人となり消防、保育士なども含まれます。18年4月1日で372名、この1年間で、13人減っています。ただ、福祉などは、人を増やす方向で権限が委譲されてきます。集中改革プラン等の削減に向けて努力しております。

五丁目上 男性

県に言って、統一見解で出してもらって欲しい。

総務企画部長

全体で見ますと、分母が大きいところ、浜松市、静岡市などの方が率が低くなっています。また、市によっては消防が単独か組合か、保育園、幼稚園が公立だったり、なかったり色々な条件があります。

五丁目上 男性

静岡市や浜松市と比較しているのではなく、24市町の中で悪いほうから7番目ですよ。

仲島 男性

子育て支援への取り組み、平成18年度が終わると、何がどう変わるのか。今年のアウトプットを教えて欲しい。待機児ゼロ、時間延長、0歳児から就学前児の子育て支援について説明して下さい。

こどもみらい課長

平成18年度に何が変わるかとの事ですが、市としましては子育て支援を充実し、子育てしやすい環境を作りたいと考えています。18年度から始めた仕事は、乳幼児医療の所得制限の撤廃、小中学生のスポ少等の体育館、運動場の使用料の無料化、児童手当の拡充、今年度考えている就園奨励費の拡充などの経済的な支援以外に、堀小、河小学区に放課後児童クラブの開設、県との共同で静岡子育て優待カード事業を開始、0歳児から就学前の子育て支援については今申し上げたことです。

来年度以降につきましては、こどもみらい課の目的として窓口の一元化、子育て支援に対する企画力を上げる、事務事業を見直し翌年度に改善していきたいと思っています。現在、来年度に向けて見直しを検討している保育時間の延長は現在、市内に保育園が10園ありますが3園で実施、これから増やして行きたいと考えています。市内の待機児はゼロです。

仲島 男性

本年度の具体的なアウトプットが無いような気がする。例えば延長保育を、3つを5園にするとか、数値はないのですか。会社では具体的な数値の計画がある。具体的な数値は無いのですか。

こどもみらい課長

市では子育てに関して次世代育成計画を策定しています。その中でいくつかの数値目標があり、延長保育については3ヶ所から4ヶ所と言った目標、リフレッシュ一時保育を7園で実施を全ての園で実施したい。平成17年度にこの計画を作りましたが、17年度の放課後児童クラブの実施箇所が4ヶ所でしたが6ヶ所にすると目標にしています。

牛淵 男性

2つの質問と1つの要望をさせていただきます。消防署には資格を持った人がいますか。なぜ資格が必要ですか。それを受けて、2つ目の質問をさせていただきます。

消防長

絶対的に必要な業務ばかりではありませんが、最近は救急が増えていますので救急救命士の資格は、出来るだけ取らせるようにしています。毎年出来るだけ1人ずつ増やして、9人若しくは10人位に増やしていきたいと思っております。現在は7名です。救命士を取る目的は、救命率を上げるということです。消防の職員としての資格については、レスキューなどの資格がありますが、絶対に必要というものはありません。

牛淵 男性

行政の充実、市民サービスの充実ということでよろしいでしょうか。図書館についてです。協議会委員をやらしてもらっていますが、その中でも問題として出されている問題でもあります。菊川文庫を中心に伺います。菊川文庫には司書を持った職員が必要で、何人が司書の資格を持っておられますか。

教育文化部長

係長は事務でありますので持っていませんが、司書の資格を持ったものが2人おります。

牛淵 男性

それを聞いて少し安心しました。お願いがあります。協議会でも出た問題ですが、公立、公共図書館については、指定管理者制度と言いますか、民間委託の傾向が強くなっています。是非、菊川文庫、小笠図書館には指定管理者制度とか民間委託はなさらないような、行革、総合計画であって欲しい。特別返事がなければそういうふうにご了解し、行革、総合計画に趣旨を組んで進めていただけると受け取ります。

教育文化部長

行革の中では、指定管理者制度を検討しろとは言われましたが、指定管理者制度は、県下の図書館の中で静岡市に1ヶ所あると聞いています。当市の図書館については、市で持っている施設については行革の中で、指定管理者制度の検討はどうかということで、しなさいとなっておりますが、今の計画の中では、図書館については、今すぐに指定管理者にするとは考えていません。

牛淵 男性

今のお話を、こういう風に受け取ってよろしいでしょうか。今後は行政の方から資格のない方が図書館に異動することはないし、指定管理者についても市としては考えていないという風に、受け止めてよろしいですね。

教育文化部長

先程も申し上げましたとおり、県下で1つだけ指定管理者制度を静岡市でやっているとありますが、周りの図書館もまだ、あまり検討をなさっていないと聞いております。職員の人事の関係ですが、これについては図書館司書を当然つけなくては行けないと考えておりますので、小笠の図書館にも司書の資格を持ったものを2名置いております。事務的なことは一般事務のものが入っていないと出来ませんので、そういうものは、異動の中でやっっていこうと考えております。

牛淵 男性

ありがとうございました。図書館を利用する市民の立場でも心強いご答弁をいただきました。よろしくお願いいたします。

仲島 男性

保育園児待機時ゼロをお願いします。妻が育児休業を終わってそろそろ職場復帰

をしようと思っておりますが、保育園を廻って見ますと、その年代の子は一杯ですと言われてしまうことが何件かありました。保育園児待機時、現在はゼロだがこれからゼロで行くということなのか。やはり希望するところは行けなくて、どこかに廻されてしまうのか。近くの保育園に行きたいが、入れていただけるか見通しをお聞きしたい。

こどもみらい課長

ずっと以前は、保育園は措置と言いまして、市町村が保育に欠ける子供を保育園に入れるという形でした。今はそういうことではありませんでして、その子が保育園に入るかどうかの決定は市がしますが、どこの保育園に行くかは、その家庭が決めるということに制度上はなっています。もう一杯と何ヶ所かで言われたとのことですが、全体的にみれば市内10箇所に保育園がありますので入れるかと思いますが、場所によっては、一杯といいですか、子供の人数に応じて保育士を配置しなくてはなりませんので、子供を一人入れると保育士を一人増やさなくてはいけなくなるなどの状況になりますと、直ぐにの対応は難しくなるかと思えます。保育所それぞれの事情がありますので、必ず希望の保育所に入れるかといいますと、そうでない場合もあるかもしれません。全体的には待機児はゼロで今後もやっていきたいと思っております。

日之出町 男性

集中改革プランの取り組み28項目の達成結果の住民への報告、1年間の達成結果をどの位の時期に、私たちが知ることが出来ますか。

財政課長

行革の取り組みについて、どのように公表していくかとの質問だと思いますが、本年6月に、平成17年度の行革の結果というものを出してありまして、8月3日発行の広報きくがわに、取り組みの状況の概要を載せるようにしています。また、市のホームページには6月の段階で載せてありますので、ご覧下さい。

日之出町 男性

来年も今頃か。

財政課長

年間のスケジュールの中で、6月に評価しますので平成18年と同じくらいの時期に公表させていただきます。

青葉台 男性

行政サイドの評価というのは、6月頃公表されるとのことですが、行政改革大綱の

中で掲げられている目標の中で、地域と協働による市民満足度の高い市政運営とありますが、市民満足度の高い市政運営をどういう方法で、いつ、誰が評価するのか。市民満足度というからには、不特定の市民が入ることを期待しますが、どのようにやられるかお聞きしたい。

財政課長

既に本年度、市民を対象にしたアンケート調査を実施しまして、その中に項目を掲げまして、そこにお答えをいただいて測ってまいります。測ったものについては、平成18年度より本格導入しました、行政評価の中で、市民の皆さんの満足度を参考にしながら行政評価を進めて行きます。また、市長から説明のありました、総合計画の中に、アンケート結果を反映、毎年アンケートを行っていきます。

青葉台 男性

定量的な目標を持って、例えば5年後にはスタートからどこまで高めるといようなことは、考えていますか。

財政課長

総合計画の中で、施策の目標を掲げております。また、行政評価におきましても、目標を掲げており、どこまで目標に近づいたか、どこまで達成したかを評価します。その結果も公表します。

青葉台 男性

2つ目の質問です。小笠と合併して1年半強が経ちますが、当初予定した合併効果の成果、合併後の問題についてお聞きしたい。

市長

効果と積み残した課題についてであります。合併して1年半経ちますが、まず進めたことは、新市まちづくり計画に乗っ取って進めています。ブレがあったかと言われれば比較的順調に、今は効果が出ていると思います。ただ、外部的に、例えば三位一体、地方分権、交付税の削減など外的な動きがありますので、それに対しては慎重に取り組んでおりますが、合併当時の両町民の思いの方向には進んでいると感じています。

河城地区 市政懇談会

日時 平成 18 年 8 月 5 日 19 時から

会場 河城地区センター

参加者数 82 人

懇談(質疑応答)

和田 男性

和田法明寺周辺の県道の整備について、道が狭く、カーブとなっており、朝夕の通勤時間には危険を感じる。今まではお寺のことで、工事が出来ないと思っていた。それがなくなれば簡単に進むと思っていた。5月に障害が無くなったのかと思ったが、その後も色々な問題もある。区としましては強力をお願いしたい。現道の拡幅についてどのような計画があるか。規模、どの位まで広がるか、塩崎さんまで一挙に広がるか。今後の進め方について、教えていただきたい。

市長

吉田大東線の拡幅については、毎回要望をいただいております。申し訳ないと思っております。県道ですので地元市議員、自治会と相談をし、県に要望を上げてきました。今回、赤堀県議から一般質問をしていただき、空港関係で強く要望していただきました。地元の皆さんの熱心な要望もあり、延長は200mほど、19年度に着手したいとの県土木部長からの答えをいただきました。まだ、それ以上の具体的なことは聞いておりませんが、その時には、地元の皆さんの協力をお願いいたします。

和田 男性

みなさん、危険を感じている地域ですのでよろしく願いいたします。

東富田 男性

富田地区は島田境に行くに従い、傾斜地が多くなる。その為に集中豪雨があれば、土砂崩れ等の災害がおきやすく、災害がおきると、人命、財産が失われる心配がります。個人がおのこの対策することは経済的、技術的に困難であります。市としての危険箇所に対する災害対策は、また、個人への市としての資金、技術援助はどのように考えているか、お聞きします。

市長

先月の全国の集中豪雨を見ますと、改めて防災対策の重要性を感じたところであり

ます。市としまして平成16年度に防災マップを作成しました。是非ご覧下さい。今までは、情報を出すことが良いか、悪いかもありましたが、ハザードマップを出したり、防災マップを出すことによって、市民の皆さんに防災力を知ってもらおうということで出させてもらっています。

色々な補助制度などがあり、部長も来ておりますので、後で部長に説明をさせます。国とか県とか、市の補助制度がありますので、うまく使っていただいて、安全対策をお願いします。

建設経済部長

東富田の方から、急傾斜の対策について質問をいただきました。どのような事業者と言いますと、山崩れを防ぐ事業ではなく、山の下側にコンクリート壁、上に強度の強いフェンスを作ります。山から土砂が崩れたら、フェンスで受け止め、皆さんの逃げる時間を作るというものです。採択の要件として、住宅が5軒以上が連担しているか、30度以上の傾斜、高さ5m以上の崖とか細かい要件があります。崩れたときにどういう影響が出るかとか、地形とかによって採択が関連してきます。建設課が窓口になっておりますので、連絡をいただければ担当者が現場を見させていただきます。

上倉沢 男性

3点ほどお願いします。県吉沢金谷線の倉沢地内の道路拡幅について、まず一点お聞きします。旧金谷町までは、だいぶひろくなってきましたが、菊川市に入ると急に狭くなります。子供たちも473号線の工事があり、朝の福祉バスを使っている状況です。拡幅の完成時期を示して欲しい。

2点目は、西山茶園造成への侵入路の計画についてです。勝平地区の用地の買収が済み、二茶後に工事が始まると聞いていました。実施の時期と完成時期を示して欲しい。

もう一点は、畑総1号幹線ですが、目木沢橋までの用地買収が済んだと聞いており、二茶後の工事と聞いていますが、着手の時期、完成の時期を示して欲しい。

市長

473号線については、上倉沢地区の皆さんの協力により順調に進んでおり、ありがとうございます。吉沢金谷線については、狭隘箇所があり、空港関連として県に対して強く要望しております。JRの踏み切りの所と上倉沢茶農協の所について、今年度着手が予定されています。市境についても県に強く要望をしております。

西山造の勝平地区につきましては、8月に全ての地権者の方と契約ができるとの話を聞いております。県も工事発注の準備をしているとのことで、県からの工事の日程が入り次第地元の皆さんにお知らせいたします。

目木沢橋の件ですが、今お話がありましたように話が進んでおり、区間が200m余と長いため、18・19年度の2年間に分けて実施したいとのことで、20年の3月の完成を目指していると聞いています。今後、工事中につきましては地元の皆様にご迷惑をお掛けするかと思いますが、ご協力をよろしく願います。

上倉沢 男性

西山造成、10月着工予定と聞いていますが。

建設経済部長

西山造成の進入路は用地を市で買い、工事は県の土木事務所となります。用地を17年度に完了する予定でしたが、相続のあった方がおり、8月中にその手続きが終わり、ご了解いただけることとなっております。その後入札をおこないます。詳細については、土木事務所で説明し工事に入ります。

下倉沢 男性

上倉沢から要望が出ましたが、下倉沢にも関係しますのでよろしく願います。

河川の土砂がだいぶたまっています。下倉沢地域内の清水橋から秋常橋のところでは、川の中に中州ができ、背の高さ位の葦が生えてきています。増水時には中州が邪魔して堤防を越えるのではないかと思いますので、河川の中の掃除を出来るだけ早く願います。

吉沢金谷線の岩沢商店のところのカーブですが、2、3ヶ月に一度落ち葉の掃除をしています。両側の立ち木が追いかぶさってきています。立ち木の伐採を願います。

市長

中州の土砂の件については、県の管理ですので、市の職員が、自治会のみなさんと一度現場を見ますので、よろしく願います。

岩沢商店の手前ところについても、市の職員が見に行き対応をします。伐採については、切れるところは切りますが、個人の木を勝手に切るわけには行きません。とにかく一度職員が見に行きます。

六本松 男性

国道473号バイパスの工事により土砂を運搬するダンプや一般の車も増え、それらの影響からか、地盤沈下が激しい。工事完了後の全面改修を願います。

国道473号バイパスの工事により、山林が伐採され風当たりが強くなったと感じま

す。防音壁を兼ねた防風壁を設けることを検討していただきたい。

地区周辺の整備ですが、地区内にある掲示板が傷んできているので修理をお願いしたい。

物騒な人が増えてきて、お稲荷さんのお賽銭が持っていかれたりします。地域の安全対策を兼ね、道が暗いので常夜灯の設置をお願いします。

市長

国道473号バイパスは県の事業であり、県に対して早速修理するよう申し入れしました。工事完成後については、市の職員、できれば自治会の方にも立ち会っていただき、対応してもらうように県に要望をしました。

防風壁についても国道473号バイパスの関連ですので県に話をし、結果については、担当より自治会へ報告いたします。

ポスター掲示板については、選挙のために各地区に設置したのですが、現在は使わなくなりました。必要かどうかについて六本松のみなさんと、管理しています総務課でご相談下さい。

防犯灯については、安全課で対応しています。申し訳ありませんが、ご足労いただき、手続きをしていただければと思います。設置後の管理や電気料については地元の負担となっています。予算がないようです。補正がつけば付けれますので、よろしくをお願いします。

吉沢 男性

河城保育園は河城地区の保育園として、27年が経ちました。平成9年に耐震診断をしましたが、その後放置されたまま、0.1の強度しかなく、ものすごく弱い。内田は0.5だが先にやりました。子供の命は平等です。出来るだけ早く対応していただきたい。市の方針、予定、計画を聞かせて欲しい。

市長

市の中に民間と公立の保育園、幼稚園があります。今年度、こどもみらい課を新設し、子供さんに関しての立案を計画しております。こどもみらい課で、今年度は耐震対策についてキッチリするというので、それぞれの園にアンケートが行っているかと思えます。国・県の有利な補助制度を使って、市でも支援、地元負担も無いわけではありませぬので、その辺をきちっとしたいと思っております。

吉沢 男性

河城を早くやって欲しい。

市長

話としては、わかりました。

吉沢 河城地区会長

河城地区全体の要望です。平成16年の10月に要望書を提出していますが、河城小学校には、校内に会議室もありません。学童保育についても河城地区センターで行っていますが、河城小に隣接してできれば安心、安全な教育ができるのではないかと思います。職員の駐車場が目一杯、来客、PTAの活動においても駐車場がなく、運動場を使っています。校門も狭く、出入り口が1箇所しかなく、2箇所あれば、出口と入口と出来ます。何とか早く実現出来るといいなと思っております。要望から2年経っていますので前向きな回答をお願いします。

市長

河城小学校の要望書の内容は承知しております。学童保育につきましては、地区の皆さんにご理解いただきありがとうございます。もう少し時間をいただき、どう取り組んでいくか、考えさせていただきます。今日、分かりましたと言うには大きな問題です。自治会の皆さんや地元の議員と話し合うなか、どのように活用していくか、考えさせていただきますと思います。

潮海寺 男性

一つは今の政府の農業改革について、菊川市はどういうふうに取り組んで行くのか。もう一つは東富田の国太郎の悪臭問題についてお聞きしたい。悪臭問題については、昨年、友田地区の区長さん宅、関係者のお宅を訪問させていただきました。もし、今日、関係者の方がおられましたら、具体的に聞いていただきたいと思います。

今の政府の農業政策の改革はとんでもない。4町以下の農家は農家と認めない。減反も今まで以上に厳しくなる。国民の食料を大きな農家と株式会社に任せて、緊急時のみ国の権力により指揮権を発動する。そういうことにより政府の農業予算を切り詰めるのが、政府の姿勢。90%の農家は高齢化や後継者難で、明日の農業が分からない状況に追い込まれている。減反政策の結果、それを口実に、現在310万戸ある農家を10分の1の35、6万戸に減らそうとしている。農家が1、2割しか残らない。山河は荒れ放題、食料もほとんどが輸入品、食料の自給率は40%、北朝鮮よりもはるかに低い。農家のほとんどが行き詰っている。自分だけなら自分の経営が悪いが、みんなが大変。国の政策が悪い。ヨーロッパやアメリカでもやっている農産物の価格保障がされる農政でなくては、ならないと思う。

東富田にある国太楼の異臭についてお聞きします。友田地域のみなさんは、国太郎さんからの異臭に悩まされている。友田自治会でも昨年、市に実情を訴えて対策を

お願いしているが、異臭は今も続いている。市はどう対応したか、今後の方針についてお聞きしたい。

市長

農業についての、国策について私が話せることではありませんので、市の農業政策についての考えをお答えさせていただきます。農業の位置付けをきちっとするということで、7つの柱の中、躍進する産業のまちで位置付けています。その中で、5年後、10年後の次世代農業の育成、農業振興について考えています。特に考えているのは水の問題です。水をきちっと確保していかなければなりません。畑灌、担い手などの制度を使って、菊川らしい農業に取り組んで行きたいと考えております。消費者も安心、安全を求めています。それにきちっと対応できるように、JA、生産者、行政が取り組む必要もあります。特産のお茶に対しては、PRなどの指導にも取り組んでいきます。

臭気の問題については、上倉沢の皆さんからも聞きました。もう一つが牧之原の問題もあります。そのような中、5年ほど前に、市として臭気指数を設けさせていただきました。今月、また、議会におはかりし、臭気指数を15まで高めていきたいと考えています。臭気指数は悪臭ではなく、臭気ですので、色々なところに影響が出ます。そういったことに配慮しながら、取り組んでいます。不愉快な臭いが出ないように行政として指導してまいります。

沢水加 男性

16年度に自治会長をやらせていただきました。その時に、和田の地域の学校橋の南の拡幅工事をお願いし、3年越しですが大変見通しが良くなりました。事故が無くなるのではないかと思います。ありがとうございました。

沢水加から原に上がった所、山の中の県道について埋立が終わりました。バイパスの工事が完了したときに工事が完了できるように県へお願いしていただきたい。

沢水加の畑無にバイパスのインターが出来ます。倉沢から上がって飛行場に行くのに、小学校の前を通過してインターへ、絵になる地域になると思います。観光バスが通るくらい景色が良い。未整備の地域ですので、何とか拡幅をお願いします。

473号線の影響で沢水加に水が集まるのではないかと心配します。一部地域で設計変更があると聞いています。公会堂の掛下橋の所に一軒ありますが、大雨が降ると公会堂に避難してもらっています。水が出ると沢水加は苦い経験があり敏感です。その対応に対して、また要望が上がりますのでよろしくお願い致します。

川がきれいになると虫がいなくなってしまう。川を改修するときその辺も考えていただきたいと思います。

娘の友達が福祉課、けやきへ行ったようですが、対応が非常に悪く、相談に行った

ら何がそんなに困ったことかというような対応で、非常に怒っていました。藤枝は対応が柔らかいと聞きました。柔らかい対応が出来るように職員の教育をお願いします。

市長

職員の対応については、誠に申し訳ありません。課長会、部長会できちっと指導いたします。沢水加の水治めについてですが、473で協力いただき、心配なところもあるかと思しますので、事業も進んできましたので、一度県に行きまして、水治め、地域の道路について、県の対応を確認してきたいと思えます。もう少し具体的な話は、建設課へお願いします。

潮海寺 男性

昨年、この市政懇談会で菊川市として非核自治体宣言を行って欲しいと申し上げたところ、議会へ提案しますとの答えでした。1年が経ちますが、どうですか。早くやっていただきたい。旧小笠町でも、旧菊川町でも非核自治体宣言はやっていることです。宣言された後どう対応されるのか、広報にのせるのか、看板を立てるのか、そうしたことをお聞きしたい。

市民税、県民税が上がりました。びっくりした人もいるのではないのでしょうか。税制改革で、特に高齢者に対してきびしくなりました。国のやり方に憤りを感じます。こういうことが、国保、介護、保険料と連続して引き上げられる。医療体制の改悪により、高齢者の負担が増えます。増えた税金をどのように使うのか。国保料、介護保険料を下げるとか、どのアンケートを取っても、高齢者の福祉、医療の充実が一番の願いです。弱者重視は市長が言ってきたことですので。

教育長にお聞きします。秋の国会で教育基本法が改正されることについて、審議が行われる。私は教育基本法に基づいて教育を受けたことに喜んでいる。間違っていない。今の教育の諸問題が、あたかも教育基本法が悪いからと、教育基本法の改正の動きがあります。今の教育基本法に対する見解を、お聞きしたい。

市長

非核宣言、今議会の方でもそのような話が出ています。それぞれの思いがありますので、どのような宣言にするか、議会の方で協議して欲しいと、お話をさせていただいております。

国の税制改革の中で高齢者の負担が増えたことは事実です。税収が入ってきますが、交付税が減ります。それだけ、もろに増えるわけではなく、交付税とのバランスの収支で決まる仕組みになっています。事実、福祉関係が増えています。これをご覧いただければ、今、菊川市がどの方向に向かっているかお分かりいただけたと思えます。

教育長

先に報告をさせていただきますが、菊川市の学校は非常に落ち着いています。市が唱える学社一体、学校と家庭と地域が一体となって子供を指導する、これが菊川市においては、うまくいっているかと思えます。各学校を訪問しましたが、非常に明るい事業が行われています。皆さんも是非、学校を訪問してみてください。教育基本法に基づいて市の教育をやっているつもりです。

西富田 男性

少子高齢化について聞きたいのですが、若い人がいない訳ではない。菊川市の結婚適齢期の人口はどうなっていますか。適齢期の人口と結婚はうまく伸びているのですか。

企画政策課長

調べて後で、連絡いたします。

西富田 男性

地域に活力が出るのは、地域にいる若い人が一生懸命やれる環境があること、そうすれば、結婚もスムーズになるのではないのでしょうか。そのような観点を持っていただきたい。こどもみらい課があるように、結婚支援課があってもいいのではないのでしょうか。

企画政策課長

貴重な提案ありがとうございます。子育て支援については、先ほど市長から説明しましたとおり、各方面において取り組んでまいります。

平川地区 市政懇談会

日時 平成 18 年 8 月 7 日 19 時から

会場 ひらかわ会館

参加者数 81 人

懇談(質疑応答)

地区会長

小松洗橋はすれ違いが出来ない橋梁であり、是非1日も早く架け替え工事をお願いしたい。

牛淵川は水の汚れが県下で一番。下平川堰から小松洗い橋までの区間の河川を河川浄化を含めた親水公園のような整備をお願いしたい。

掛川浜岡線バイパスの完成年度はいつか。

都市計画税を導入したいとの考えのようですが、課税の目的、税率といつ賦課される予定か。

市長

市道井矯堂線についてですが、現在、詳細設計を平成17年度からの継続として引き続き行っており、牛淵川に架ける小松洗橋詳細設計も同時に進行し、国土交通省との河川協議に向けて調整を進めているところであります。本体の工事着工については現在菊川市総合計画策定を行っており、これによって財政計画を立て実施調整を行っているところであります。地元要望に早期に答えられるよう努めたいと考えます。

牛淵川の親水護岸計画については、国土交通省が管理する河川区域内での整備となりますので、地域から強い要望があったということと市として国土交通省にお願いをしていきたいと考えます。流量が少ないとの理由もありますけれど、河川の水質汚濁度ではNO1という不名誉な評価を受けておりますので、汚れるのは家庭雑排水が多いと思うわけですので、皆さんも環境対策にご理解をいただくとともに、行政として公共下水道、合併浄化槽の推進などに取り組み、官民一体となって河川浄化に取り組んでいかなければならないと思っております。

掛川浜岡線バイパスについては最重点事業として取り組んでいます。県施行区間については、地権者の方々、関係者の方々のご協力をいただき、道路用地がほぼ取得され、来年度からは本格的な工事の着手予定と聞いております。

市施行区間については、今年度から地権者の方々のご協力をいただくなか、用地買収補償を実施しており、道路用地に該当するの方々には、今後個々にご案内をさせ

ていただきたいと思います。地権者の皆さん、隣接のみなさんのご協力をお願いします。

県施行区間の完成目標は平成20年度、市施行の完成目標は平成21年度とし、これを目指して事業を進めておりますが、色々な協議、国交省との橋梁、遺跡などの協議に予想より日数を費やしているため、若干完成目標が延びる感じがしております。

都市計画税につきましては、旧菊川町で都市計画税を課税、旧小笠町で非課税となっており不均一課税となっております。合併協議会での調整としまして「税の賦課については、現行のとおり課税する。ただし、旧小笠町の区域については課税しないこととし、合併年度及びこれに続く5年以内に均一を図る」という内容で調整された事実があります。旧菊川町におきましては、昭和35年度から、都市計画事業の認定とともに都市計画税の賦課、徴収を開始しております。旧菊川町の条例によりまして、「都市計画区域として指定された用途地域内の土地及び家屋に賦課する」となっており、税額の算定方法は、土地・建物のそれぞれの課税標準額に、0、3%の税率を掛けた額となります。菊川市では平成17年度に都市計画課・財政課・税務課で協議を行い年度計画を策定いたしました。平成18・19年度に、小笠地区用途地域への課税による効果額の調査、課税範囲の見直しによる影響調査、小笠地区への都市計画事業の検討を行い、平成20年度には、方針の決定及び住民への周知を行い、平成21年度より均一化を図る方向で考えております。

地区会長

学校教育についてですが、モラルや責任感のない若い大人が増えている。学校教育が少しゆがめられていないか。家庭教育がおろそかになっていないか。家庭教育が重要。学校教育と家庭教育の両立について、施策や考えはあるか。

旧小笠地区の中小建設業者さんが、不況に苦しんでいる。100万円以下の小規模事業について、市内中小業者に優先的に受注機会が与えられないか。

小泉内閣の民営化が大はやり。民営化したら消えてしまうような施設もある。橋の向こうの小菊荘がありますが、これなどは民営化すれば消えてしまう運命にあるかと思えます。消防の分遣所も無くなった。民営化も大切だが、官で守るべき事業もある。

市長

市では、小規模修繕等参加登録制度を10月から実施します。市内業者の受注機会を増やし、市内経済の活性化を図るというものです。金額は30万円からのスタートを考えておりまして、広報きくがわ8月号に掲載させていただきました。登録を希

望される市内の業者の方は、登録をお願いします。景気が厳しい中、市内の商工業者の方に、市の仕事をやっていただきたいとの基本的な考えは同じでありますのでご活用下さい。

小菊荘の経営状況につきましては、ここ数年、利用者数全体では横ばいではありますが、利用単価がマイナスになっており、その分が減額となっております。がんばっているとの印象はもっております。職員が非常になんばって来て、アイデアを出しながら、お昼のサービスとかをやって来ていますが、やはり景気には勝てないというところ。このような中で、まず小菊荘については耐震化をしっかりとしないといけないということで、耐震診断を実施するよう発注の準備をしています。これからの経営形態であります。指定管理者制度導入などについて、時間をかけて検討していきたいと考えていますが、すぐに民営化するとの考えは持っていません。

教育長

報道などでは、家庭教育が目茶苦茶と言われ、だから子供たちが危険な状況にあると言われております。菊川市の子供たちは輝いています。岳洋中学校に夏休みが終わったら訪問して下さい。素晴らしい授業をやっています。先生たちも一生懸命、子供たちも一生懸命がんばっています。北小の土曜クラブ、南小の南の風、東小のくすりん。地域の方々が、学校に行き子供たちと色々な活動をしていて。例えば北小では、絵が好きな子には絵が好きな地域の方が指導、釣りが好きな子には釣りを、東小ではお年寄りがぞうりの作り方を指導してくれます。子供たちも豊かな表情で地域の方と手を動かして喜ばしい限りです。これからは菊川市全体に広げて行きたい。学校を是非、地域の方に訪ねていただきたい。文部科学省では学社連携、学社融合といっているが、私は学社一体であって欲しいと思う。学校と家庭と地域とこの3つが、一体となって子供を指導する。そうすることにより子供達が活気づく。3年前から、ふれあいあいさつ運動をやっている。子供たちは非常に良い挨拶をする。とにかく子供たちが、すくすくと大きく伸びるように、教育委員会職員一丸となって取り組んでいます。気づいたところがあれば、なんなりと言って下さい。よろしく申し上げます。

下平川 男性

合併前の懇談会で、市になったら公害の件で専門的な人を置いて欲しいと言ったら、人が増えるからそのようになると聞いたが、全然そういう形になりません。専門的な知識を持った人を置いて欲しい。市役所と相手の工場へ要望を出すと、回答が全部口頭で文書で一度も来ない。私も話すのに、文書などの証拠品が欲しい。最悪、裁判の証拠として必要になってくる。市への要望にも回答は文書では一度もない。

前の担当者には、何回相手の会社へ行って、どういうことを言ったのか、文書で欲しいと言ったが、2ヶ月経っても全然来ていない。新しい担当者が聞き取り調査をしたようだが、その結果も廻ってこない。課長、部長に会ってもなかなか解決しない。市長、助役を含めて問題解決にあたって欲しい。太田市長も知っていると思いますが、もし知らないなら、私の方から書類を渡します。旧小笠町では公害対策委員会があった。そういうものを、出来れば作って欲しい。市長、助役にも来て確認して欲しい。

旧小笠町には、何箇所か公園がある。話を聞くと地元の要望でなくて、何か作る時に、そういったものを入れないと道路とかの拡幅ができないと聞く。草まるけで使っていない。これからは極力作るのは止めて欲しい。公園を作っても利用する人もいない。青葉通りとか歩道に木が植えてある。草まるけが無駄なことは止めた方がいい。

市長

環境問題については、市内の他にも臭気の問題とか色々出ております。庁舎内で環境推進課が中心となり取り組んでいます。お話があったことも私も話を聞いています。道路の方については、担当課より説明します。

下平川 男性

街路樹、公園、無駄ですので止めたらどうですか。

建設経済部長

公園の関係ですが、区画整理事業でやりますと地区面積の、3%の緑地を取らなければなりません。できた公園については、管理が必要となります。今後も地域を含めた中で、管理してみなさんが使いやすい公園にしていきたいと思います。街路樹は、街中になれば緑が少なく、日陰などの役割、見た目などから必要なところもあります。必ずなくてはならないものではありませんので、必要かどうかは地域の皆さんと相談します。また作ったものについては、きちんとした管理をしっかりやっていきたいと思います。

福祉環境部長

来ていただいたりしてお話を伺っております。来られたときだけではなく、再三工場にも伺って、地元ではこういうことに困っていると話しながら会社の中のどこに問題があるのか、企業努力を聞いたり、工場の周りのどこが音が大きいかわかるとか調べたり、軽減出来ることはないかとやらせてもらっています。相手があることなので、問答をしながら対応している状況です。

堤 男性

下平川の人口4千人、今日は70人しか来ていない。こういうことを何回もやって欲しい。

菊川市の予算が166億円、小笠町の予算が昨年ざら50億円、菊川市になって小笠地区に対する予算はどのくらいか。

企業誘致の進行状況は。

消防が分散した。メリット、デメリットを数字で出して欲しい。

コミュニティセンターを作っていた。コミュニティ活動を推進するということで委員会が出来ていると聞かすが、1年経ってもまだ結論が出ていないと聞いてますが、その結論はいつ出るのか、どういう方向でいくのか。

原発の安全協定、中電らは色々な情報をもらっていますが、市としてどう進んでいくのか。

と はこの場で、からは後で文書で結構です。

市長

色々な会合に出させていただき、情報提供させていただいたりして対応させていただいております。小笠だから菊川だからということではなく、多くの市民のみなさんと話をしながら、これからの菊川市のまちづくりについて、ご理解いただきたいと考えております。

166億円の内訳はとのことですが、小笠がいくら、菊川がいくらとの分析はしていません。民生費としてどんな形か、継続事業、新規事業もありますので、選択と集中のなかで、例えば、今年は小笠のどこどこ小学校の体育館を作ったから、次は菊川のどこどこ体育館というような考えでなく、相対的に優先順位をたてて、取り組んでいますので、旧小笠がいくら、菊川がいくらとの分析はしてありません。

堤 男性

今年の予算のどの位のパーセントとなるのか、大雑把にいつどの位か。

総務企画部長

市長からお答えしたように、旧小笠町、旧菊川町がこの位との分析はしていません。無理やり分けようと思っても別けられる、別けられないところがありまして、166億円を別けるのは不可能に近いと思います。

堤 男性

事業費として、どの位出ているか、今分からなければ後で良いから聞かせて欲しい

い。

総務企画部長

どこまで出来るかわかりませんが、あたってみます。やり方としては、市長が申しましたとおり、これを小笠に作ったから菊川にと言うようなことではなく、菊川市としてやっておりますので、その辺りはご理解をお願いします。

堤 男性

もし分からないなら、土木事業、建設事業、教育事業位に分けて、昨年と比較したものを後から出して下さい。せっかく市長が来るなら10%位来るようにして欲しい。

石原 男性

昨年は、環境整備の話でのごたごたしました。今年はみんなから集めたお金を有意義に使うと聞いていますが、具体的に何に使うのか教えて下さい。

昨日、サイレンが3回鳴りました。3回目にやっと西嶺田の公民館の近くとの放送がありました。鎮火の放送もおかしいと思った。30分位多分経過したと思うが、その時に理解しかねるが、消防署と消防団と放送していたが、この放送はどこが責任を持ってやっているのか。消防のことについては、みなさん相当神経を使っています。昨日のような不手際はあってはならないことと思います。どんな不手際があったのか。

福祉環境部長

昨年は袋を分けるということで、ご迷惑をお掛けしました。その点を踏まえまして自治会を中心とした環自協で協議した結果、今年度は物を買うのではなく、地域みんなで環境問題に取り組むということで、不法投棄防止などの看板を作る活動計画を立てています。

消防長

昨日の火災の同報の関係では、ご迷惑をおかけして申し訳ありませんでした。私どものミスでございます。昨日も昨年の1月と同じくサイレンは鳴りましたが、同報の放送が出ませんでした。旧小笠町と旧菊川町の2つの機械があり、若干操作方法が違います。菊川町は電源を入れて直ぐにサイレン吹鳴、放送が出来ますが、小笠町の機械は電源のスイッチを入れて10秒待ってサイレン、15秒待ってアナウンスが出来るという仕組みであります。火災の連絡が入り、通信の職員も混乱しており、あわててしまい、10秒間待てませんでした。今後につきましては、このようなことが2度と

ないように、訓練を重ねる中で信頼を取り戻していきたいと思います。初歩的なミスでご迷惑をお掛けしたことをお詫びします。

堤 男性

教育がなっていないのではないか。マニュアルがないのか。マニュアルがあるならマニュアルを読みながらこんな失敗はない。教育というがどんな訓練をするのか。2回も間違うとは、訓練がなっていない。教育訓練とはどういう言葉なのか、それを聴きたい。

消防長

確かにおしゃるとおりです。今後は繰り返し訓練をやっていきたいと思います。

堤 男性

マニュアルはあるのか。

消防長

あります。

堤 男性

後で見せて欲しい。

下平川 男性

この前、1月の時だが、消防団の人が消火栓の位置が分かっていなかった。水が無いということで池を教えた。消防団にしろ、市の消防にしろ、消火栓の位置とか、どこどこが燃えた時には、どこの池の水を出せばどの位で来て、ここへ消防車をおくととかは出来ているのか。

消防長

消火栓の位置ですけども、消防団も消防署も承知しております。ただ夜間だったり、あわてておりましたりして、たまたまお聞きすることはあろうかと思えます。消防団も消防署も時間があれば、消火栓の点検ということで廻らせてもらっています。

男性

消防については先回も説明してくれましたが。結果的には2回目の失敗だが、そのようなことから考えると、装置を換えることを考えなくてはいけないのではないか。

市長

大変昨日の火事ではご迷惑をお掛けしました。今朝、消防署に行き注意をしました。合併しまして2つの装置があるとか、違うからと言うことは、言い訳になりません。このようなことが少しでも無くなるように、今年度、指令台の部分整備をします。

堤 男性

小中学校が充実していると聞いてありがたく思います。今後のことを考えると、幼児教育が大切だと思います。幼稚園、保育園の母親などへの教育を考えていただけたらありがたい。というのは母親は子育てについて大きな悩みを持っている。幼児期に対する教育が大切だと思います。幼児を持つ親に対する家庭教育学級などの考えがありましたら、説明していただきたい。

教育長

おっしゃるとおり、幼児教育は非常に大切と考えております。幼稚園の先生には保護者に園に出向いてもらったり、問題があれば先生から家庭訪問をして、是非よりよい教育方法を考えて欲しいと伝えていきます。地域の皆さんにも、子供にあったら教育して欲しい。昔は子供が悪いことをしたら、隣のお父さんに怒られた。最近はそれが薄れてきた。地域の皆さんも、子供が人に迷惑をかけたり、善悪の判断ができなかったら、しかってもらいたいと思います。

堤 男性

教育委員会として、母親に対して何か考えはありますか。

教育長

保育園は私立で、教育委員会として対応しにくいところがあります。教育委員会の職員もしょっちゅう幼稚園に出向いておりますし、私も様々な会合に出向いて、保護者の話を聞いたり、話をさせていただいております。

女性

牛淵川の管理は国交省、年1回草刈があり、今年も7月に業者がやりました。草刈をしてくれるのはありがたいが、後片付けが不十分です。乾燥した草を巻き取るが、隅々まで出来ていなくて、風が強い時には、私の家の方まで飛んでくる。道路にも草がちらばっている。国交省が直接業者に依頼するのか、市が間に入るのか。去年はあまりにひどいので、平田出張所に電話した。後もきれいにやって欲しい。

建設課長

国交省が直接業者に発注し、業者が決まりましたら報告がきます。もし苦情がありましたら、市のほうに言っていただければ、国、平田出張所に伝えます。

志茂組 男性

掛浜バイパスの赤土より南について全然、目に見えてこない。これは核燃料税でやって欲しい。2町の了解があれば、核燃料税でやれることとなっています。是非、浜岡の町長と仲良くやって、同時に完成するようお願いします。

総務企画課長

要望でよろしいですか。

以上

町部地区 市政懇談会

日時 平成 18 年 8 月 9 日 19 時から

会場 市民集会所

参加者数 72 人

懇談(質疑応答)

町部地区より事前に出された質問

1. 駅北開発に伴う菊川駅(橋上駅の設置)について
2. 宮前町から西通り側に抜ける、線路の下に設置されている下水道管の整備について
3. 西通り町内会の区画整理事業について
町内会の一部が区画整理事業に入っていないので、町内全体が入るよう計画をして頂きたい。
4. 環境美化への取り組みについて
過去5年、ごみの総搬出量はどうなっているか。
減少への取り組みについて、またその対策は
平成17年9月ごみの分別方法変更後の状況はどうか
今までと変わった事、また問題点は、
ごみの回収時間が午後三時頃になる日があるが、なにか工夫することはないか
環境ギャラリーになってのメリット(資源化など)は、また経費はどうか。
ごみ袋が破れやすいが、野鳥対策(カラス)として、袋を黄色に変更できないか。
区画整理が終了している道路(歩道)に有る植木や草花の手入れはどうなっているのか。
5. 福祉関係について
介護保険の現状は、どうなっているのか。
5段階別の人数と介護保険料納入状況はどうなっているか。
未納者はどの段階の人でどの位いるのか、また対策はどうしているのか。
毎年介護保険料が上がっているが、今後高齢者が増加していくが今後の見通しはどうか。
介護保険の見直しがありランクなど厳しくなるが、予想される問題点は、また対応策は。
6. 菊川病院の現状について
医師不足について
現在どの科の担当医が不足しているのか。その対応策は。

高齢者は、入院して3ヶ月過ぎると退院また他の施設へ転院するように求められるが、その時点で適切に指導されているか、特に費用面など。

市長

駅北開発につきましては、平成14年度に隣接自治会の皆様から貴重なご意見・ご提案をいただきながら基本構想がまとめられました。その中で菊川の玄関口にふさわしい機能や、課題、将来的な展望等も踏まえて、大枠でのゾーニングがされたところです。朝日線アンダーは、順調に行けば5年か6年で完成します。開通すれば駅北周辺の立地条件は飛躍的に向上することが期待され、防災上の交通路とか駅北全体発展の起爆剤となることを期待しています。この朝日線アンダーの投資効果を最大限に活かし、駅北地区の総合的な開発や広域的な交通ネットワークづくりを図る上で、橋上駅とか駅北への開駅や駅前広場は重要なポイントと考えています。そのためには計画をきちっと作りまして、どのようにしていくか市民の皆さんと話をさせていただきます。この整備には、多額の事業費がかかりますし、また多くの地権者もおられますので、市を挙げての大事業となります。総合計画を作っておりますので、駅北開発の推進に向け市民の皆さんと一緒に、検討をしてみたいと考えております。

次に宮前から西通側に抜ける線路下を通る下水道管の整備についてであります。ご質問の箇所は、宮前から西通を通り、市役所の前を通り5丁目下を通過して、菊川に入ります。この間のどの地区についても、流下能力が充分ではありませんので、大雨が降ると迷惑をお掛けしております。そのような中で平成16年度、宮前地区の皆様のご理解とご協力を頂き調整池を設けさせていただきました。しかし、調整池だけでは、浸水被害を解消するまでには至る訳ではありませんので、水路の改修を行わなければならない箇所があります。上流部を先に改修しますと下流地区が浸水します。そのため下流から改修しながら、安心して生活いただける対応を考えています。JRとの協議には非常に時間がかかりますので、今後、下水路については、内部で検討してみたいです。

駅南土地区画整理事業は、市施行でやっています。特にこの地区は健全な市街地をつくるということが大きな目的でありまして、道路、排水路、公園等の整備をしております。区画整理事業は、減歩、つまり、みなさんから貴重な土地を10%とかばしょによっては40%とか出していただいてもらいまして、それが道路になったり、公園になったりし、直接お金の負担をいただいております。それが特徴です。区画整理事業は面的な整備をする事業として、13.6haの区域を位置づけて国から補助金をもらうなど、有利な制度で行います。今回、西通の方が入れてくれ、一緒にやったらどうかということですが、先程説明しましたとおり、13.6haという一つの面の中でやっておりますし、あと3年ほどで終わらせたいと思いますので、今から駅南の区画整理事業に入るのは難しいと思います。新たに西通地区で区画整理事業をやるとい

あれば、それは地域の皆さんが、色々お話をさせていただいて、土地をどのように出していただくとか、街路をどうするか話をして、やっていかななくてはならないものですので、その点をご理解願います。

菊川市民の皆さんの環境行政へのご理解は、大変ありがたいと思っております。というのは、県下においても一人当たりのゴミ排出量が非常に少ない、リサイクル率が高い、ゴミの搬出量が少ないということは、皆さんがご協力いただいているということです。過去5年間のごみ排出量ですが、平成13年度が9,000トン、平成14年度が8,800トン、平成15年度が9,400トン、平成16年度が9,200トン、平成17年度が9,000トンとなり、9,000トン前後で推移しています。他の地区では、ゴミが右肩上がりで増えていますが、菊川の場合は、廃プラとか分別とか、自治会の皆さんの熱心な協力により、それがまさに数字に出ています。今後ともよろしく願います。昨年9月に環境資源ギャラリー、焼却場がスタートしました。今までは三沢と棚草でやっていましたが、今度は24時間、70トン炉を2炉、140トン炉で旧掛川市民と菊川市民のゴミを焼却しています。今までと違ひまして、プラスチック類、ゴム製品等が燃えないごみから燃えるごみに変わりましたが、分別方法が根強いので、燃えないごみの袋の中に、燃えるゴミが、まだ20～30パーセント含まれているということです。是非、ご協力をいただきたいと思ひます。

ごみを回収する時間がばらばらとの意見をいただいております。週明けとか、ごみ量の多い日などは運搬に時間がかかり、収集時間が遅くなることもありますが、ご理解をいただきたいと思ひます。

環境資源ギャラリーのメリット、経費はどうかということですが、メリットはダイオキシン対策、厳しくなっています。今のキルン方式では、ほとんどダイオキシンが出ません。市民の皆さんに、環境的に非常に良い焼却場になったと言えます。一方負担金を、毎年3億円近く負担します。一人当たりになると約6千円位で、3人家族ですと年間、1万8千円位です。ゴミを焼却するための焼却場の建物を作って、運営費で1万8千円、リサイクル、分別、収集のお金も入れれば、一人当たり8千円位の税金が使われています。ですから、皆さんがゴミの減量化に努めていただければ、それだけ焼却炉に対する負担金が減りますので、ご協力をお願いします。

次に、ごみ袋が破れやすい、カラス対策として黄色に変更できないかということですが、私もうちで言われまして、担当に言いました。新しい袋を作りまして、やり方が悪く皆さんに迷惑を掛けました。少し改良しまして、新しい袋が出ていまして、もう少し今の袋をご利用していただくよう願ひます。

介護保険の現状は、どうなっているかということですが、平成12年度にスタートして、6年目になります。5年前と比べ1.5倍ということですから、介護保険は増えているということでもあります。介護保険が上がってくるかということですが、介護保険は施設介護と在宅介護の2つあります。老健、特養施設、デイサービスなどサービスを充実す

れば、受益は増えますので、介護保険料は上がります。今、私達は介護にならないように、健康な高齢者になってもらいたいと、色々な健康づくりを進めています。これから高齢者が増えてまいります、健康老人と言いますか、生きがいのある方を増やして行きたいと思っております。

病院については、村田院長が来ておりますので、院長から説明していただきますが、ここ3、4年医師不足が続いています。菊川市においても眼科、脳外科の常勤医がいなくなったり、今年の6月から来年4月まで精神科が閉鎖いたしまして、皆さんにご迷惑をお掛けしておりますが、近隣自治体病院に比べれば、医者の数は減っていません。これは、浜松医大、菊川病院の医師のほとんどが浜松医大から派遣してもらっていますが、菊川病院と浜松医大の関係がうまくいっているからです。

村田院長

病院に関することを説明させていただきます。医師不足と退院の時の問題、2つの質問をいただいております。現状、社会的背景、最後に将来的な話をいたします。まず医師不足についてですが、眼科、脳神経外科、精神科に常勤医がいません。精神科は来年の4月には、浜松医大から常勤の医師に来ていただく予定です。近隣の病院ですが、医師が一番多かったのは平成12年頃ですが、袋井病院は平成12年の60名から42名に18名減、掛川病院が63名から51名に12名の減、菊川病院は32名が29名で3名の減ですが、精神科が来年来てくれれば、ほぼ現状です。袋井、掛川病院では、今の状態では救急患者は診ることができないということで、紹介状か救急車で来ないと、夜間の診療は基本的に行わないとの話になりつつあります。まだ確定はしていませんが、そういうところまで医師不足が進んでいます。対応策としては、浜松医大との関係を重視、しょっちゅう行って連絡を密にしています。背景は正確に言いますと医師不足ではなく、医師が偏在しているということです。毎年8,000人の医師が誕生しますが、自治体病院へ医者はどう来ると言いますと、卒業する学生の内、7割は大学の医局に残り、大学からこの病院へと派遣されてきます。それが3年前に制度が変わり、大学に残らなくても、好きなところで研修して下さいと変わりました。すると都会の設備の整い、専門医のいる病院へ行った。大学に残る人が1,600人位減った。大学に人がいなくなりますから、大学は確保するために、地方へ出している所から引き上げる。そういうことで、袋井、掛川は名古屋から来ているので、引き上げの数が多くなった。もう一点は、医師が一番不足しているのは、産婦人科、小児科、脳外科。共通しているのは、夜中でも起こされる。仕事が大変、訴えられる。小児科は2人しかいませんが、何時呼ばれるか分からない。休みがありません。うちは当直が1人、徹夜しても、翌日もまったく同じ仕事をしなくてはなりません。私どもが、医者を集める努力を怠っているのではなく、社会的な背景です。今の段階では、菊川病院は持っていますが、何時どうなるかは分かりません。医師不足はしばらく続くと思

います。なんとかがんばろうと思っています。

2つ目ですが、高齢者は3ヶ月を過ぎると退院を求められる。適切な指導はされているかということですが、3ヶ月過ぎたら退院してくれと言っているわけではありません。基本的なスタンスとして退院して困る人には、無理に退院させないようにしています。かといって何時までも入院していいかと言いますと、病院には急性期病院と療養型病院があります。急性期病院とはある程度治療が終了するところまで、療養型病院はリハビリ、介護の病院です。菊川病院には福祉支援課があり、毎週水曜日に整形外科の患者さんに対して、将来どうしようか相談しますが、そこに福祉支援課も含めて、退院させた場合、何が必要か、何が足りないか、どう説明するか行っています。私は、浜松医大から来ましたが、浜松医大は楽でした。急性期が終わったら、療養型病院に送ってしまえばよかった。療養型病院がその後を考えればよかった。菊川には療養型病院がありません。急性期病院でありながら、療養型の機能を果たさなくてはなりません。整形外科に入院している人は、高齢者が多い。そういう人の家を整えるのは非常に大変です。実際に福祉支援課、リハビリの人が家まで行って、車椅子が使えるか、手すりがあるか、足りなければ、こういうのをやって下さいと指導している。そうして帰ってもらう。大学に比べても進んでいる。施設に行くについても、ソーシャルワーカーがいて、家族と相談して決めています。時間が来たから出て行ってくれとは言っていない。そういうことに関しては、この病院は進んでいます。ただ、背景ですが国はますます、機能分担を分けようとしています。国の方針では出来るだけ早く患者を退院させたい。例えば14日過ぎると病院のもらう金は下がってしまいます。国は療養型病院も減らそうとしています。私どもは、今は手厚くやっていますが、将来は分かりません。今の時点では、無理やり帰すことはしませんが、ただ病院としては、家に帰ってもらうか、施設に行くか選択してもらわなくてはなりません。急性期病院としての機能がありますので協力をおねがいします。車椅子がゴールの人もいます。その辺のご理解をいただきたいと思います。今後の医療はどうなるのか、国は急性期病院のベッドを半分に、人口30万人に1個か2個、病院があればと考えています。磐田、森、袋井、掛川、御前崎、菊川市で病院は1個か2個あればとの構想としてあります。実際どうなるかわかりませんが、そういう状況です。国としては何とか医療費を減らしたい。そうなりかねない現状があります。私どもは、今やれることを精一杯やって行きたい。皆さんも救急に関して、昼間忙しいから夜来た、夜がすいているから夜来たということは止めて欲しい。このままでは医者も疲れて倒れてしまう。ご協力を。病院はみなさんで、うまく使ってもらいたい。ご協力下さい。

区画整理室長

街路樹の管理については、市が行っております。駅南地区につきましては、事業施行中ですので区画整理室でっております。事業中ですので全てには植栽していま

せん。随時植えて行くことを考えていますが、地域住民の方々に四季おりおりの花を植えて、活用いただければと考えます。除草を年数回やっていますが、地域の皆さんの協力をいただければと考えます。

福祉環境部長

介護保険料の状況ですが、17年度末における所得段階別対象者数は、5段階のうち第1段階が14人、第2段階が1,654人、第3段階が5,783人、第4段階が1,248人、第5段階が989人で、合計9,688人となっております。前年に対比しますと1.6%ほど伸びています。収納状況につきましては、所得段階別の集計データ値は特にありませんので合計で申し上げますと、17年度決算額になりますが、3億6,837万150円の保険料収入がありました。未収納額でございますが、5,682,700円、未納者が220人となっております。

また、未納者への対応につきましては、他の保険料・使用料・税金の担当部署と収納状況に係る情報の共有化を進めており、役所内の関係する部署と連携を図り取り組んでいるところです。

会場から

柳町 女性

子育て支援への取り組みありがとうございます。町部地区の母親の間では、私立幼稚園が駅周辺に2園、公立幼稚園が加茂1園、合併して公立が増えたが、私立幼稚園と公立幼稚園を公平に選択する機会が少ないままです。私立幼稚園と言っても、中学、高校とは違い、近くの幼稚園を選ぶ傾向があります。若い人の中には、公立と私立の差もよく分からない人もいます。就園奨励費があります。基準を上げてもらってありがたいが、近隣や国の基準などを勉強してみると、まだ賈えない世帯があったり、基準額が近隣の掛川市と同じでないことも分かってきました。これからも引き続き色々な支援をお願いします。お答えというよりもお願いということで、よろしく申し上げます。

緑ヶ丘 男性

2点ほどお聞きします。市は行政改革大綱、集中改革プランを作っており、その成果を期待するものであります。28項目の大半は、どこの自治体にも共通、取り組みには、一刻の猶予も許されるものではないと考えます。期間は5年間とありますが、市長の手で取りまとめた計画ですので、任期中に一定の成果が現れるようにお考えいただきたい。明確な年次計画、改革を必要とする理由、見直しによる行財政上の効果、事前に検討され、どこに問題があるか承知されていると思いますが、内容については例えば、定数管理についてはここに問題がある、補助制度のここに問題がある、そのよ

うな検討状況は、当然公表されるべきものと考えますが、それらを公表した上で具体的な改革に着手すべきと考えますが、その点をお聞きします。行政改革には納税者の理解と協力が欠かせないと思います。ましてや市民に痛みを求めるものなら、積極的な対話が必要と思うがどうか。事務事業の見直し、定員管理、給与の適正化、民間活力の利用、経費の節減等は行政組織内部の問題で、直ちに実行に移すべきもので、5年では時間をかけすぎと感じる。

JRアンダーの感性が期待されるところでありますが、説明では完成までに7年、8年掛かるとのことだが「選択と集中」ということがありましたが、効果を出すには出来るだけ短期間に工事を終え、成果を確保することが重要と考えます。アンダー完成後の柳坪線への接続と周辺の土地利用について昨年度は調整中とのことだったが、アンダー完成後の土地利用について説明をと市道柳坪線の道路整備について説明をお願いします。関連しまして柳坪線と県道掛浜線との交差点、Y字の変則的な交差点で坂道、なおかつ左右とも大きなカーブで見通しが利かない。信号機もない。1mにも満たない歩道が堀小の通学路、大変狭い通学路で見た目が危険。側溝の上を利用しているが、その側溝には穴が開き危険である。最近、最大の大きな穴は埋めてくれ、多少なりとも危険は排除されたが、これにより改善とは言いがたい。渋滞する交差点と通学路の抜本的な解決を期待します。なにせこの道路本体の構造上、改善も難しい。土地の提供や財政の問題を考えますと、短期的に解決するのは無理かもしれないが、今まで放置されてきたことが住民の安全確保の視点から考えると手抜きかと思う。一度、堀小、行政、警察と子供で通学時間に学校まで一緒に歩いて、どこが危険か、子供の安全を守るためには、どのような方法が必要かを検討していただき、その上でしかるべき改善をお願いします。先程、公共投資は予算比率で15%に抑制するとの説明がありましたが、実際、日常生活において、住民の安全のための投資は必要になってまいります。ただ投資を抑制することばかりが、決して良いことではありません。選択と集中の中で、効率的な行政投資を行うことが行政にとって重要なことであり、我々住民も大いに期待しているところであります。是非、その辺のお考えをお聞かせ下さい。

市長

集中改革プランは毎年の進捗率をみなさんに公表します。集中改革プランについての進捗確認には、行革の専任のスタッフを置き、常に確認しながら進めてまいります。補助金については行政評価システムを導入、それらの評価を見ながら、これからの補助金について検討していきます。JRアンダーには40億円近くの大きな費用がかかります。JRとの協定の中で、5年間で完成させることとなっており、集中的に毎年7、8億円投資し、5年間で完成させます。これだけの投資効果を得るためには、当然、駅北の開発を考えていかなければならないと考えています。具体的に言いますと旭テ

ックと協議が必要となってまいります。しかし、会社の事情もあり将来の具体的なことについては、話が出来ないのは事実であります。もう一つ、掛浜線との交差点ですが話はそれますが、駅南の区画整理の増田ベニヤ、黒七さんのところが、たぶん今年度には協力が得られると思います。そうなりますと、掛浜線の道路形態が変わってくると思います。将来的には掛浜バイパスが掛川に行く道も計画しています。そういったことも総合計画の中で詰めておりますので、駅北側の開発については、地域の皆さんと意見交換をしながら、今後の対応を考えてまいります。通学路については、子供に事故があってははいけません。今年は子育て支援という形の中で、通学路対策につきましてもきちっと対応するように言っておりますので、細部については道路関係の担当より答えをさせていただきます。

建設経済部長

JRアンダーの工事、昨年10月、JRと5年間の協定を結びました。21年までに函体部を抜くということで協定ができました。出来るだけ短期間に、ここに事業費を集中していけるか、総合計画等で財政計画を練っているところであります。柳町の交差点の関係ですが、形状が複雑で交差点の場所としていいところではありません。朝日線の開通と柳坪線の交通量を勘案し、現地の方を子供と一緒に歩いてみたいと思います。地元の方にも協力をお願いすることもあります。その時はお願いします。先程、市長からも説明がありましたとおり、一般会計の中で建設事業を現在の22%台の数字を今後は15%程度に抑えるということです。166億円ですので7%下げると、11億円余を予算的に減らしていくこととなります。そういった中で、皆さんの要望をその中でいかに満たしていくかが問題となり、考えていかなければなりません。今後も子育て支援とか、生活に密着した部分については、なるべく要望していきたいと考えております。

西方地区 市政懇談会

日時 平成 18 年 8 月 16 日 19 時

会場 西方地区センター

参加者数 48 人

懇談テーマ「西方地区の将来のあり方を語ろう」

西方地区の地図を囲んで座談会方式で実施

進行 地区会長

西方地区の将来を、皆さんと一緒に考えて行きたいと思います。道路整備と土地利用、これからの西方の産業をどう考えていくか、子ども達を取り巻く環境や防犯のあり方、そして30年来の懸案でありました西方川をどうしたらよいか。この4点を議題にし、一点ずつ話し合っていきたいと思います。

第一点目として道路整備と土地利用からですが、朝日線アンダーがここ3、4年後にできつつあります。西方地区の交通量が増えるであろうと思われる。田ヶ谷では調査に入り、工業導入の検討が行われる。伊達方のトンネルを割って南北道を考えたかどうかと思う。朝日線アンダーの開通により随分流れが変わる。ここが開いたら西方はどうしたら良いか。そんなことを考えてみたらどうかと思う。

市長

一番の話題はJRのアンダー。やっとJRとの協議が済み、17年度から5年間で開ける。アンダーを抜くのに26億円、全て合わせると40億円かかります。21年には完成させてつなぎたい。今年度も7億円、これから毎年7億円位の予算をかける。道路整備の必要性は駅北側の利便性、防災も道路一本ではまかないきれない。駅北開発協議会で、開発に対してどのようにしていくか協議をいただいております。平成14年に作った、この地区をどうしていくかの計画書がありますが、この秋には総合計画が出来てまいりますので財政的なこと、将来的な開発、保全とかを考えながら、北側の総合的なものを出していきたいと考えております。先日も緑ヶ丘の自治会から柳坪線の見直しについての要望がありました。潮海寺では、自分たちのプランニングで、どのようなまちづくりを進めていくか、3、4年前から始まりました。掛浜バイパスをなんとか早くつなぎたいと思っています。当初この道は、オーバブリッジで考えていましたが、田ヶ谷側へ抜けることを考えています。土地利用を考えながら、掛川市と協議しています。皆さんのご理解をいただき、工業団地にして、道を通していただきたいと思います。

地区会長

昔の住宅計画があったところ、ここが何とかならないかとの思いがある。一部は荒れている。図面で見ると西方の中心、この土地利用が何とかならんかと思う。

島川 男性

国1に道の駅ができています。そこから南へ抜いている道がきています。柳町のアンダーからそこへつながれる、その位の大きな計画を持って欲しいと思います。

市長

川崎工業さんのところですか。

島川 男性

川崎工業の南側です。

田ヶ谷 男性

中遠農林がやっている事業。

男性

木佐森さんの南のところ。その先はどこへ行くのか。

市長

まだ決まっていません。当然アンダーが抜ければ、国1バイパスにつながるアクセスとして、将来を考えなければと思います。そうすれば、有海さんがさっき言った土地利用が考えられる。

島川 男性

サックスの所が混んであぶない。工業団地が出来れば、道がそっちに抜ければ良いと思う。

市長

ぜひ地権者の方に協力をいただきたい。

堀田 男性

聖苑の周りが白地になっている。土地利用の計画がないなら、相続とかがあるので、青地にしたら。

収入役

工業導入を考えて白地にしたが面積とお金の関係で止まってしまった。地元の意向があれば変えることはできないこともないが、相続税対策の青地はよくない。

堀田 男性

ここが出来なくて、こっちを新しくやるのか。

市長

企業の考え方もあります。

田ヶ谷 男性

(地図の西方高橋線を指し)この道が中途半端に死んでしまっている。工業団地に合わせて付けたい。こんな考えですか。

堀田 男性

企業が来るのか。

市長

市としても誘致に取り組みます。

田ヶ谷 男性

ギャラリーに道が出来、バイパスの千羽インターからまっすぐ来る。国一が無料になり、その車がブルメリヤと沢崎タイヤの西側のところで混むようになった。伊達方の随道をオープンカットしたいとの希望がある。

市長

市内にオープンカットしたい随道が丹野とか3箇所あるが、県からはなかなか良い返事がない。県には強く要望しています。

田ヶ谷 男性

通行止めにして2年くらい掛かる。バイパスの方が安くなる。ギャラリーから東に抜ける道はボツになったのか。

市長

掛川からは直接聞いていませんが、秋ごろからまた造成が始まるようです。また、掛川に聞いてみます。

公文名 男性

道の駅から公文名へ抜ける道はいつ頃、工事に入りますか。買収は済んでいます。

市長

調べて担当から電話させます。

堀田 男性

堀小のところの水路、保育園のところからまっすぐJRを抜いて、こっちの谷の水を南側にやってくれる気持ちはありますか。

市長

西方は西方川を第一優先で考えています。今のところの要望の話も承知していますが、まずはそこから。やっと県が西方川について動き出した。整備計画といって、これに載らないと県はやりません。これを逃してはいけませんので、今は西方の皆さんには大変申し訳れありませんが。

地区会長

せっかく改修同盟会の委員長がおりますので。

黒田市会議員

JRを抜いて、新しい川を作る計画。7月16日と8月12日の2回地権者に集まっていただき、ほぼ地権者から協力をいただけることになりました。細かい要望を建設課へ地区会長から言ってもらいます。

地区会長

新しい川に付け替えてもらう。地権者の方々にはご理解をお願いします。色々な問題もありますが、うまくいくように取り組んでまいります。10年、15年かかる事業です。長くかかるので早く出来るようにお願いします。私どもが聞いているのは、22年位から、どうしても10年はかかる。県も国の補助をもらってやる事業です。だいぶ前へ出てきました、市も協力をお願いします。

堀田 男性

こっちはまだかねー。

岡本市会議員

西方川が抜けるのはありがたいことで良い事ですが、それで全部が解決するわけではありません。ルートが違う。堀小周辺、プルメリアのところから推進か何かで抜くのを市の事業としてなんとかやって欲しい。

市長

JRとの協議は時間が掛かります。私も承知しています。これが出来ればそれで良いというわけではありません。少し落ち着いたら取り組みます。

岡本市会議員

寺田川にはまだ余裕がある。JRが難しいなら今あるところを推進で抜く、そうすればJRは関係ない。なんとかお願いしたい。

市長

調べてみます。

沢田 女性

沢田に住んで13年、何回か床下浸水になりました。山西の茶農協と言われましたが、それで水は引きますか。

地区会長

新幹線のところからの計画となっています。かなり引けると思います。

島川 女性

地形が変わっても大丈夫ですか。JRを抜くということはあるが、地形が変わることで、同じことが繰り返されることはないでしょうか。地形が変わってもびくもしない川を作ってもらいたい。

市長

計算式があり、県とそのようなことがないよう話し合います。

地区会長

新しい川は、相当の水が出てもいいように、やってくれると思います。

堀之内 男性

朝日線アンダーが出来るとはありがたいと思いますが、その先の計画がないと不安に思います。交通量が増えることを心配する声があります。出来るだけ早く、本

格的に国1に抜ける道を希望します。今のままでは、せっかく作った道も行き止まりになってしまう。

市長
わかりました。

地区会長
駅北開発委員会もあります。その中でも十分協議してもらいたい。

島川 男性
清水のところのオーバブリッジの話が出ましたが、新幹線の方、公文名がおいでいられる心配がある。南北の道路網が出来ていません。工業団地の導入の計画で、交通量が増えるのではないかと。そうなってくると、JR側の道一本だけでは、ぐるぐる廻っていかねばならない。南北のしっかりした道路を付けて欲しい。遊休農地も増えている。土地利用を考える中で、水と道路をしっかりと考えて欲しい。個人的には線路北へは、水を流して欲しくない。線路南へはかせるようにして欲しい。

助役
今、工業導入の調査をさせてもらっています。もし可能との結論が出れば、進入路と一体で開発をしたいと考えています。中小家畜試験場との間に調整池を計画しています。線路の南側に流しますが、分水嶺があり一部は北に流れるところがあると聞いています。少しの部分が北に流れますが、概ねは調整池を作って、南に抜いていく計画でいます。

島川 男性
水治めは是非、そんなことでお願いします。

地区会長
道路一つですごく土地利用が変わります。掛浜線の歩道がデコボコです。県にも要望して欲しい。

男性
アンダーが完成すれば、旭テックの跡に、ショッピングセンターが来るとの話があるが、本当か。

市長

旭テックの社長と年数回話をしますが、3、4年で社長が何人か変り、話がうまくつながりません。どこが来るとかは聞いていません。

島川 女性

駅北に駅を開けてくれるのですか。

市長

北口を作るのにはざら25億円、全部地元負担です。島田、袋井が南口をやるようですが、JRからは全然お金が出ません。

地区会長

JR沿線で、両側が開いていないのは、金谷と菊川。発展する町は、両側が開いている。焼津もそう、藤枝もそう。北口がないのは菊川くらい。

市長

アンダーができ、定住人口が増えればと思います。

地区会長

アンダーが完成し、その後の対応が重要です。

次に子どもをとりまく環境です。スクールガードを皆さんにお願いしていますが、そういったことをやらなくても、安心して、通学できたり、遊んだりできる犯罪のない地域づくりが必要、どう取り組んだらいいでしょうか。

男性

よそのところで仕事をしていたら、子どもの下校時間になりました。地域のみなさん、防犯対策をお願いします。との同報があった。

教育長

小笠では3、4年前からやっています。全市に広げようと考えています。私のもっとうは学社一体です。学校と家庭と地域が一体となって子どもを育てようです。学校だけ、家庭だけで子どもを育てるのは無理。学校、家庭、地域の3者が一体となって子育てに取り組む。小笠では下校時間に、同報無線を流しています。今の環境は子どもたちに本当に悪い。子どもが襲われたり、殺されたり。事件が全国的に多い。市内の小中学校を就任して、2回廻った。今、菊川市の子どもは、非常に落ち着いている。先日も堀小の校長とじっくり話をした。堀小の子どもの人数が減っているが、今の規模が学校としては、良いのではないかといっていた。校長が言うには子どもたちが明るい。日

本を背負って立つ子どもたちに変な思いはさせたくない。校舎が古いですねと校長が言っていた。新しい校舎で学ぶ気持ちが大切だろうと思います。一生懸命、地域のため、子供のためにがんばりますので、ご協力をお願いします。

地区会長

市長も堀小の出身です。

沢田 女性

民家の途切れる、島川から沢田のJR新幹線の所で、以前変質者が出て子供が怖い思いをしました。特別に旗などを立つ良い案があれば。

教育長

ふれ愛さつ運動、安心・安全の旗があります。在庫もありますので言っていただければ。スクールガード、学校協力隊というのがあり、学校を通じて協力を呼びかけています。絶対に市内の子どもをそういう目に遭わせてはいけません。警察にもパトロールをお願いしている。皆さんにも協力をお願いします。

地区会長

民家がない通学路であります。旗を立てるなど当面の対策を考えた方が良くおもいますが。

沢田 女性

旗も破けてしまっていますので、PTAで更新していただければありがたい。

教育長

各学校では、PTAに更新してもらうように、お願いしてあります。またお気づきのことがありましたら、堀小へ連絡をお願いします。

堀小教育の会 男性

防犯カメラの設置に協力していただきありがとうございました。地域の方に子供を知ってもらうことが大切です。あの子はどこの子とみんなが知っていることが大切。10年前まではそうでした。復活させるようなことをしていただければありがたい。

地区会長

まったくその通り。NHKの森尾アナウンサーの講演で防犯対策上重要なのは、あいさつ、声かけと言っていた。地域を上げてそういう運動に取り組んで効果を上げた事例があるとのこと聞きました。声かけ運動が基本だそうです。

男性

資料に借入金が210億円、順次返していくとあるが、何年までを目途に。

市長

210億円は過去からの借金です。これからも借金をしていく事業もあります。例えば朝日線アンダー事業、その内何千万円かは借金です。何年後かにゼロにすることは出来ませんので、借金を増やさないということです。これから福祉とか教育にお金がかかります。選択と集中で建設事業を抑えて、借金を増やさない。お金が入ったから前倒して返していくのではなく、210億円を増やさないということです。

男性

単純に教えて下さい。210億円は減らないのか。100億円に減らす目標でやっていくのか。

市長

210億円を目途に増やさない。

男性

国にも県にも借金があります。減らすんだという発想に私はなっていました。減らさないということが分かればそればそれで良いです。文面から見れば減らすと書いてありますので、いくらにするのかな、ということです。

市長

増やさないということです。

男性

計画的に縮減しますと書いてありますが、いくらまで縮減するのかな、ということで伺いました。

市長

いくらまでとは具体的にはありませんが、今のままでは、どんどん増えてしまいます。これを増やさないという方向で、今、財政計画をたてています。これからの借金の額は減らしていきますが、5年間は増えていきます。ローンを組んでいますので黙っていても増えてしまいます。平成22年をピークに借金を下げるように取り組んでまいります。

男性

老人世帯が増えているように見受けられます。茶畑が所々で荒れています。広い面積でなく、小さな面積のところ荒れています。里山と言われているところが、草刈がされず荒れています。10年計画にこういったものをどうするかが入っていますか。

あわだち草がきらいです。秋になれば日本全国ですごい。外来種です。ブラックバスは外来種で駆除の対象となりました。国からのこういった草木に対する指導はありませんか。具体的にこういうものは、こうするとの基本方針がありますか。

市長

お茶畑の話ですが、農地については、集積と流動化に向けて取り組んでいます。民地と民地の話ですから、行政として、担い手施策とか専任の職員を置いて話をしていますが、個人のものでしたら、あなたの土地を、あの人に貸してやって下さいとはなかなか言えませんので、中に入る形で、市としても取り組んでいます。あわだち草については、国県からはありません。里山についても、個人の山です。行政がなかなか入れないところです。市有地は個人で管理いただきたいと思います。

男性

森林税が始まりました。菊川市には何かありますか。

市長

菊川市には今年度はゼロです。もっと奥の山で、県の税ですので、荒れたところを整備するようです。

男性

個人の持ち物にも

市長

具体的にはわかりません。

男性

みどり次世代という言葉は良いが、次世代へ荒れた農地を残す。菊川市の中に、親父さんが亡くなって息子が浜松や静岡に住んで、ここにいない方もいて荒れたままになっているところもある。そのような所について持ち主に対して何か指導ができないか。

市長

地元の自治会から環境上問題があるとか相談があれば、相談にのります。

男性

私は、藤枝に土地を持っていますが、市の方から草刈代を出すか、自分で草刈するかとの案内状が来て、自分で草刈にいきました。

市長

どういう形で藤枝がやられているか分かりませんが、基本的に隣地の方から草が生えているからなんとかして欲しいと地主の方に。菊川ではその範囲、いくら出して欲しいまではやっていません。

男性

何となく荒れてくるような気がします。考えてみて下さい。

地区会長

初めての形でやりました。問題点が出たような気がします。今日だけのことではなく、これからの西方をどうしていくか研究して行ったらどうかと思います。コミュニティ協議会の検討を始めています。そういう中で、これからの西方をどうしていくかの委員会を立ち上げてもらったらどうかと思います。

市長

西方の皆さんの思い、課題はある程度承知しているつもりです。一度には応えられませんが、徐々に皆さんの要望に対応させていただきたいと思っております。西方地区には東遠、聖苑、そして資源ギャラリーの隣接としてお世話になっております。今年度は、西方川の改修、工業団地について全力をあげて取り組んでまいりますので、ご協力をお願いします。コミュニティ協議会、西方らしい組織づくりをお願いします。

横地地区 市政懇談会

日時 平成 18 年 8 月 27 日 19 時から

会場 横地地区センター

参加者数 60人

懇談(質疑応答)

■地区会長の挨拶の後、横地小学校児童(登校リーダー)から、奥横地県道信号機設置決定及び、段向橋南側歩道の柵(横地保育園駐車場と歩道の境界)撤去のお礼と、段向橋歩道設置の要望がありました。

■横地地区より事前に出された質問

1. 通学路確保について

段向橋の歩道、横地小学校への上り坂下り(車の増加による危険)

2. 星ヶ丘地区の舗装のひび割れの補修について

3. 大須賀金谷線歩道部の転落防止柵の設置について

土橋集会所から段横地信号までの間の歩道に防護柵を設置して欲しい。(途中に水路有り)

4. 掛川浜岡バイパスについて

奈良野から小笠地区へのルート、工事予定の説明をして欲しい。

また、バイパスより菊川病院までの新ルートを考えて欲しい。

5. 谷田大池補修について

堤防補修の見通しを説明して欲しい。

6. 学童保育への支援について

加茂まで行くと塾通いが大変になる。

7. 横地城について

国指定となったが、予算のつき具合はどうか。大屋敷との関連は。

●市長

私は今年度、職員に対して通学路についてはきちっと対応するように指示をしています。限られた予算のなかではありますが、学校周辺の通学路については職員も取り組んでくれております。段向橋の歩道設置については、数年前から強い要望をいただいております。まず幹線道路であります、大須賀金谷線や横地本線の整備を今まで進めてきましたが、こちらの進み具合を見ながら、段向橋を検討していかななくてはならないと思っております。歩道橋の設置にあたっては、国土交通省との河川協議を

始めとした多くの調整が必要となります。総合計画の中で少しでも前に出して行けるようにと考えております。

また、横地小学校の坂道部分についても、要望をいただいている箇所でもあります。限られた財源の中で、地元自治会の皆さんや地元議員さんと選択と集中の中で、早く解消が出来るように取り組んで行きたいと考えています。

星ヶ丘住宅団地内の舗装のひび割れについては、担当課ではもう少し様子を見させていただきたいとのことでした。

大須賀金谷線の歩道に転落防止柵の設置については、設置した当時は危険はあまりないという感じのようだったと聞きましたが、今回、要望で危険ということであれば転落防止柵を設置したいと考えますので、自治会と担当課の建設課で協議をせさせていただきたいと考えます。

掛川浜岡バイパスについては目玉事業であり、合併特例債、県の支援事業となるべく早く投資効果が出るように取り組んでおります。市の事業では横地地区の皆さんにご協力をいただきますようお願いいたします。奈良野から大鹿池までは、市が取り組んでおり、そこから南は県の事業として進められています。市の事業については、横地地区の皆さんに協力をいただいておりますが、これからも是非協力をお願いいたします。

この道路が出来ることによる、バイパスから菊川病院に行く新ルート of 構想をいただいておりますが、現在のところ新ルートについての計画はありません。将来的にどのように交通体系が変わるか、完成後の交通体系を踏まえて、考えさせていただきま

す。

次に谷田大池の補修の見通しですが、地域の皆さんには、ご迷惑をお掛けしていません。平成16年2月に国営かんがい排水事業大井川用水の事業の関係で水を利用させていただいた折、法面崩壊が起きました。国、県、大井川右岸土地改良区、市と4つの機関が関わっており協議し、遅くなって申し訳ありませんが、昨年度に国営でやることに決まりました。本年秋には実施設計が予定されておると聞いています。その時には、地元説明会を開催いたしますので、ご協力をお願いいたします。早期の復旧に向けて、国、県、大井川右岸に対しまして、話をしていきますので、もう少し時間をいただきたいと思

います。

放課後児童クラブにつきましては、PTAの皆さん、地元議員さんからお話をいただいております。2、3年前は、とにかく早くスタートしたいということで、昨年加茂、横地、内田で中央児童クラブを設置したところであります。その中で5時30分には、迎えにこれない方もおられると聞きますので、利用時間の延長をいま検討し、少しでも利用しやすい放課後児童クラブにしていきたいと思っております。河城、西方については、地元自治会に無理にお願いし、地区センターでやらせていただいております。この少子化の中、放課後児童クラブを所管する厚生労働省での見直し、文部科学省でも子育て

てについての見直しの動きがあります。国・県の動きをいち早く察知するなかで、菊川市の子育てについての環境を整備してまいります。

横地城につきましては、地元のみなさんにお世話になっております。菊川城館遺跡群につきましては、昨年度より保存管理計画作成事業に着手、事業費5百万円が予算かされており、平成19年度までに策定して参りたいと考えております。また、大屋敷との関連についてのご質問であります。高田大屋敷遺跡と横地氏城館跡が併せて国指定史跡菊川城館遺跡群となっておりますので両遺跡あわせての保存管理計画策定となります。今後、史跡整備計画など地元の皆様とご協議する中で進めていきたいと思っておりますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

●建設経済部長

掛川浜岡バイパスの工事予定について説明いたします。市の施行分約800mについては、地権者の方のご同意をいただき、今年、ほぼ用地が買えると思っております。工事用の進入路、三沢川の左岸からの進入路工事に本年度入りたいと考えており、年内に発注したいと思っております。また、三沢川を渡る部分の地盤改良にも一部入りたいとも考えております。用地を買えた部分から、土を掘削する工事に入っていきたいと思っております。大鹿池から南の県施行分部分は、今、用地買収がほぼ終わりました。現道との取り合いが多く、その辺りの調整をしながら、旧小笠町の静鉄ストアの東の道路につながりますので、南の水田から工事に入ります。遺跡の調査もあり、それらを調整しながら進めて行きたいということです。県の支援事業は基本的に5年間となっており、平成21年度までの完了を目指し工事を進めようとはがんばっていますが、国交省との協議、遺跡の調査などがあり、その調整が必要となり、目標は5年間ということで進めておりますが、若干の遅れがあるかも知れません。基本は5年間で工事を進めると考えています。

●奥横時 男性

横地城の整備計画に、平成17年度に予算500万円と聞きましたが、それでよろしいでしょうか。

●市長

今年度です。

●奥横地 男性

予算は調査等と聞きましたが、聞きますと高田大屋敷は家屋移転が伴うようですが、それが認められたら予算はどこからどう出るのですか。

平成19年度までに整備計画ということですが、基本計画や年度別の実施計画が

あれば教えていただきたい。

●教育文化部長

管理計画につきましては、平成18年度末位までに作り上げ、19年度中に書類として印刷し国に出したいと、地元のみなさんと協議する中で進めてまいります。横地については、現状を維持しての保存を主に考えています。用地を買っても保存したい地域、現状のまま保存した地域など色分けして、整備計画を作っていくということで、地元の皆さんと協議しながら進めています。高田大屋敷は古川神社を含めて約3haありまして、その内農地、住宅部分については、全面的に公有地化して保存するという地域でありまして、現在、2軒のお宅については、移転をお願いいたしました。他の農地については、今年度買収をお願いしたいと予定しています。4軒のうち2軒は了解をいただきましたが、2軒については了解がもらえませんが、追加指定を目指しています。用地買収費については、国から80%の補助が出ますので、それを利用して、進めていきます。

●奥横地 男性

管理計画を作って、その後、整備計画を作るのですか。

●教育文化部長

平成14年度に整備の基本構想が出来ています。それに基づく実施の計画を作らなくてはなりません。まず、管理計画を立てて、どうしても残す、買収しても保存するところ、現状のままなど、管理の計画を立てて、併せて整備計画を作らなくてはならないかと思っています。ぜひ地元の皆さんのご理解をお願いします。

●奥横地 男性

整備する絵を作るのに、地元との協議はありますか。

●教育文化部長

勿論、地元説明会等を行っていきます。地元部会がありますので、地元部会の皆さんとお話して、その中で計画が明確になってきましたら、出させていただきます。

●地区副会長(進行)

地元の方が計画作りに関わる場面はありますか。

●教育文化部長

地元部会にもお話をさせていただいております。また、この地域には横地城保存会、

自然公園整備委員会がありますので、そういう組織の皆さんと話し合いをさせていただき、進めてまいります。文化財保護法だけでなく、自然公園法など色々な法律が関係してきますので、それらの法と協議する中で進めていきたいと思っております。

●奥横地 男性

昨年度自治会長をやらせていただきました。昨年60万円で可搬ポンプを買った。補助金が2万円しか出なかった。今年になったら35万円出るようになった。去年強く言ったから変わったのかも知れないが、補助金が変わるなら変わるでちゃんと言って欲しかった。1年位がまんした。

アエルにすばらしいホールがあるが、最近、9月の行事というものが廻ってきたが、大ホールが2、3回、小ホールが5、6回くらいと、1ヶ月に10回使われていない。もう少し有効利用して欲しい。年間の維持費がどの位掛かっているのか。何人の職員がいるのか。赤字とは思いますが有効利用して欲しい。

JRアンダーをやるようになったと聞くと、私が考えるに菊川駅に北口を作って、駅の北の方を有効利用したら、もっと人口が増えると思う。

掛浜バイパスがだるまやから奈良野まで出来た。そこは、2、3ヶ月行っていないと、どんどん出来てくるが、奈良野あたりは農業地域と聞く。将来的に何か進出計画があれば教えて欲しい。夢を言いますが、小笠の南のほうからすれば、市の庁舎は遠い。将来的に市の真ん中の横地地区あたりに来れば良いと思う。駐車場の狭い、将来的にそうなればと思うが。

道の話が色々出るが、道が良くなっても良し悪しで、あまりいい道が出来ると交通量が増えて困る。田舎は田舎なりの道でも良いじゃないかと感じます。

●市長

駅の北側の件ですが、旭テックさんとは年に何回か話をさせていただきます。しかし、ここ何年かで3人社長さん変り、それぞれの方に思いがあるようです。本年から5年かけて朝日線JRアンダーの工事をやるわけですが、そうすれば南北交通が有利になります。日坂とかバイパス、第二東名なども視野を入れてまちづくりを考えていかなければなりません。駅の北口、橋上駅をつくるには、莫大な市のお金がかかります。旭テックをはじめ、地元の皆様と話しながら考えていかななくてはなりません。

市役所が今の時点で、横地に来る計画はありません。近いうちに、横地に市役所を持って来ると言えませんので、ご容赦下さい。

●アエル館長

文化会館につきましては、昨年度、市の文化事業振興協会の自主公演を8本開催しました。その他に小学校、高校、文化協会など各種文化団体の事業など約12万人

の方にご利用いただいております。舞台操作、清掃、樹木の管理などを行い、来場される方に、安心して安全に使ってもらえるように管理しています。昨年度の施設の利用状況は、大ホールで118件、小ホールで156件、リハーサル室、展示室、茶室などを合わせて944件のご利用をいただいております。また利用人数は、大ホールで7万4千人、小ホールで2万7千人、リハーサル室、展示室、茶室などを合わせて12万5千人のご利用をいただいております。今年度は、初めての試みとしまして、お月見コンサートを自主事業でやらせていただきます。いずれにせよご利用いただくことが一番です。1人でも多くの人にご利用いただけるよう努力しております。こうしたらとの提案がありましたら、お寄せ下さい。よろしく申し上げます。

●奥横地 男性

職員は何人いるのか。

●アエル館長

平成17年度は正規の職員2人、臨時職員が3人、照明等の委託に3人、掃除の方を含めるとあわせて13、14名となります。今年度は、職員4名、臨時が2名となりました。

●企画政策課長

横地地区の土地利用について説明いたします。小出川より南側が農振地域になっています。特に農業振興地域の部分については国の補助が相当費やされています。またその時の多額の借入金もあり、何年も返済しなくてはなりません。今すぐに何かに転換することはできませんが、今後、菊川市の都市計画マスタープラン、市の国土利用計画などが作られますが、全体を見ながら、新たに土地利用を図って行くことになっていきます。

●市長

今日、担当部長、担当課長が来ておりませんので、自主防資機材の補助について概略を説明させていただきます。自主防に対して昨年度は、合併時に決めたルールで整備をさせていただきました。昨年度の市政懇談会で整備率を上げるべき、支援すべきとの意見をいただきました。そのような中で、自治会の皆様と協議をして、今年整備基準を見直しました。昨年ご迷惑をかけたとも聞いております。これからは、自主防災を整備していかななくてはならないとの気持ちでおりますので、総務部、安全課にきちんと説明するように指示します。詳しいことは担当課より説明させます。

●奥横地 男性

何かあったら、地区の自治会長に連絡をして欲しいということです。

●地区副会長(進行)

おかげさまで、自主防の補助については大幅にあげてもらい、それぞれ各地区で充実させてもらいます。

横地地区の土地利用、特に掛浜バイパスの土地利用、加茂地区までは掛浜バイパスの開通に伴って、民活であつというまに活性化した。今度は小笠までつながるが、小笠には小笠の都市計画の用途があります。真ん中の横地だけが農業地域で良いのかと思う。政策的に農振地域を外す努力と熱意が必要ではないか。せつかく道路が出来ても通過だけでなく、言葉は悪いがちった一なんとかして欲しいとの気持ちがあるのではないかと思います。是非、市として課題を持って取り組んでいただきたいと思ひます。

●西横地 男性

役所の中に業務改善委員会がありますか。役所に用があつたときに、前に一步出なさいと書いてあつた。(※男子WC 小便器に掲示) 節電にご協力下さいとも書いてあつたが、スイッチに蓋がついていた。是非、市民に分かりやすい役所にして欲しい。

先週、平川のコミュニティセンターに行きました。地元の老人の方が喜んでおりました。コミュニティセンターについて分からない点がありまして、ハードの面ではこの地区センターと同じですが、先日来た議会だよりの中で、横山議員さんが聞いていたが、コミュニティ検討委員会で検討中と書いてありました。ソフト面については、まだ決まっていないかと思ひましたが、コミュニティ委員に横地からは誰が出ているのか、自治会を使つてのコミュニティ組織なのか、別の組織を使つてのコミュニティなのか。

●地域支援課長

昨年度、コミュニティ検討委員会で検討され、指針が策定されました。それに基づきまして、現在、地域支援課で各地区に出向いて地区と検討あるいは説明をしています。なぜ、今コミュニティ協議会が必要かということですが、子どもの防犯の問題、地震の問題がありますが、今の行政、自治会だけで全てに対応できるかと言われた時に、現在はなんとか対応できる部分もありますが、将来的に見たときに大変になると思ひます。将来的に見た時に、対応できる組織を自治会とは別に立ち上げたいと考えています。自治会と対立したらうまくありませんので、ここの部分は十二分に協議したいと思ひます。地域が地域づくりをしながら、地域を育ててもらいたいと思ひます。市内11地区で検討していますが、地域によって違ってきます。地域にあつた協議会を立ち上げてもらいたいと思ひます。横地からは事務長の大林さんと平川よし子さんに出てもら

っています。

●西横地 男性

自治会とは別の組織となる。11地区にそれぞれ出来る。ポリシー、理念が1年交替の自治会では継続できない。そういう組織が必要だろうと思います。これから、議論が多いところであろうかと思しますので、よろしく願います。

昨年も最後に触れさせていただきましたが、地区センター事務長の任期の問題です。平成11年に前任者に事務長を退任いただいた。その時任期を決めないと、と言うことで最大2期4年と決めたのに、全く引き継がれていない。既に7年に入った。その決めが全く無視されている。まちには意見書を出してある。市の指導の仕方にも問題がある。いずれにせよ同じ人が長くやるのはよくない。前任者には、よくやっていただきましたが、10年近くやられ、それを避けようと議論した。2期4年はあの時決めましたよね。

●地区センター事務長

2期4年は、教育委員会が教育主事をやっているとき。その後、まちづくり課に移管され地区センターが運営されることになり、任期は1年になりました。1年毎に役場より自治会へ来年度は誰にしますかと来まして、自治会で相談して出しました。その説明はしてあります。

●西横地 男性

誰にいったのか。罷免運動をしているわけではありません。自治会で議論して下さい。

●地区副会長(進行)

先程話がありましたように、コミュニティ協議会を当地区でも、横地地区自治会の別組織で、立ち上げていくということ、その中で、センター長をどういう位置づけにするか。ご意見は、地区自治会の中で話していきます。

●地区会長

本年度の申し送りの中にその話は聞いています。本年度、コミュニティ協議会を立ち上げるということで、第1回に市の説明を聞きました。我々も、まだどのように進めるか理解に至っていません。秋口になってお祭り、七五三等が終わった時点で、横地独自のものを作ろうとは言っています。その中で、コミュニティ、コミュニティセンター長についても、皆さんからも色々な意見を聞く中でやっていきます。

●地域支援課長

コミュニティ協議会につきましては、これから、まだまだ地域のみなさんとこれから協議させていただきたいと考えています。市としてどのように支援していくか。その中で地区センターの事務長さんの業務についても、もう少し検討させていただきたいと考えています。

●奈良野 男性

7月の7日までに地域防災の関係で、必要なものがあればと言うことで奈良野でも、防災資器材について、決められた予算内で申請を出してある。出した時に、7月一杯に決定通知が出るとの説明をうけましたが、一ヶ月過ぎてもなんら連絡もない。先日電話したら予算の調整をしているとのことで、9月一杯かかるとのことだった。遅れていることに対して説明がない。行政は自治会には期限を守らせるが、自分達が約束したことを守らない。市長からスピードを持って取り組むと説明があったが、いいことだと思いが職員には伝わっていない。

●市長

連絡がなかったことは、大変申し訳ありません。明日、各自治会長さん方に担当より連絡させていただきます。私の聞いている話で説明させていただきますと、自主防資機材の補助については、今年はかなり見直しをさせていただきました。自主防の充実をしたいとの思いの中で、当初はかなりの予算を付けさせていただきましたが、それよりも要望がありました。足りない分を9月に補正するというので、財政部局で話をし出来上がりました。出来上がれば自治会長さんに良いですよと言えない事情がありまして、9月の議会で承認をいただけないと使えない事情があります。いずれにせよ職員の説明不足です。不手際がありましたことをお詫びします。きちっと説明させます。

●奥横地 男性

谷田大池の補修についてですが、明治末期に小笠郡下最大の池ということで、もっこを担いで作られた池だそうです。15万㎡の貯水量をほこります。昭和54年に何億円というお金をかけて、耐震工事をおこないました。16年の2月、大井川用水への給水ということで池の水を大きい水中ポンプでかい出す時に、水位が一気に下がり、コンクリートが全て滑り落ちていた。何億という税金を使った工事が、わずか25年でまったく崩壊してしまった。設計かずさんなのか、施工がずさんなのか、水を出す時の仕事が完全でなかったのか原因は分かりませんが、それ以来、谷田大池はあと水をキャッチしてくれませので、水田に流れてしまって、ビニールハウスが年に5、6回も冠水し困っている。真ん中の排水路も土砂が柵板1枚位積もっている。この秋に実施設計、地元説明会ということで、そこで言わせていただきますが、先般コンクリートブロッ

クを運び出す際にも、農道が陥没し補修してもらった。今度はさらに大きな仕事になると思います。堤防の補修、棚上げとなっているポンプをつけての大井川用水からの給水、大井川の水を入れる工事、大型重機が出入りする。進入路の橋が狭い、コンクリートの壁にもひびが入っていて危険な状況。道路とか、排水路、橋とかに行政も配慮して欲しい。工事に伴い周辺の出来る限りの整備を要望します。細かくは地元説明会の時をお願いします。

●市長

国営と県に色々な考えもあり、地域の皆さんにはご迷惑をお掛けしていることは事実です。私も西関東と県と話をし、また市と大井川右岸から申し入れをさせていただきます。

嶺田地区 市政懇談会

日時 平成 18 年 8 月 28 日 19 時から

会場 東嶺田公民館

参加者数 76 人

懇談(質疑応答)

地区会長の挨拶時に

・大須賀金谷線の完成予定の時期は

・井矯道線から来る交差点が暗い。街灯設置の要望が出してあるが、いつ頃設置されるか。

・大井川用水

親水公園の中央を、オープン水路が流れている。危険ではないか。安全対策に十分配慮して欲しい。

地区会長から挨拶時に出された質問に対して

建設経済部長

県道相良大須賀線については、一部関東興業さんの前が残っていますが、用地買収は済ましていただきました。そこが駐車場になっていたことから駐車場をお願いしております。そのようなことから、用地交渉を先行するため、今年度の工事費はありません。駐車場の移転が早く終了すれば、県単等で、予算の獲得を早急にしたいと県から聞いています。街灯については県に要望を上げています。他にも今年、街灯を設置した場所もありますので、今、いつやれるとは返事が出来ませんが、県に要望してまいります。

農林課長

大井川用水は漏水も多く、かなり要望もいただきます。本年度、県事業に採択され約5年で工事を実施する予定であります。測量、実施設計を中遠農林事務所によりまして、9月中旬に発注予定と聞いております。実施に向けての皆さんの協力をお願いします。安全対策については、親水公園の大井川用水と嶺田用水を一本にする予定であります。実施にあたっては、みなさんと協議いたしますが、特に中遠農林でもフェンス等は必ずやると言っています。地元の土木委員、自治会長の意見を聞きながら進めてまいります。

嶺田地区会長

街路灯だけは急いで下さい。カーブが緩やかになりスピードを出せるようになった。部活動で遅くなった子供が事故にあったら大変です。

建設経済部長
わかりました。

懇談(質疑応答)

東嶺田 男性

昨年度、菊川市が誕生してゴミの袋、250円の協力金のことでごたごたした。現段階でも協力金としてまだ徴収しているのか、これからも協力金として徴収するのか。

井の宮の水路の話がさっき出たが、今度出来る公園の出来た後の管理はどのような方法で、誰がやるのか聞かせて欲しい。公園が出来た以上、管理が必要となる。最後まで続いていくような方法でやってもらいたいと思います。今後どうゆうふうを考えていくのか聞かせて下さい。

福祉環境部長

昨年は、ゴミ袋が前に出て話題になりました。これは環境自治推進協議会と言いついて、市内をきれいにしようとする趣旨の事業であります。みなさんから会費をいただき、見返りにゴミ袋を配りましたが、その反省を踏まえて、今年度の事業を検討していただき、環境美化啓発表示板を作ったり、不法投棄のパトロールをしたりという事業を行おうと、18年度は考えています。地域ぐるみで美化運動をしようという事業となっておりますので、内容は年度当初に自治会長さん等で協議いただき、推進していきたいと考えています。

農林課長

井の宮神社の公園については、平成18年度できれいに仕上がる予定で、もう少しで発注する予定で進めています。管理は市役所の施設管理課で行う予定です。地域に根ざした公園ということで、自治会と話をさせていただき、自治会で協力いただけるということであれば、若干補助して管理してもらおうケースも出てくるかと思いますが、施設管理課でやりますが、地域の公園ですので有効に使っていただければと思います。

東嶺田 男性

公園の管理について話が出ましたが、南部建設の南側、工業団地の公園が出来た当初は、いい公園だと思っていましたが、最近では草まるけ。シルバーが年2回、6月頃と秋に草を刈って、途中は全然使われない。親水公園も立派な石をたくさん運んで

いただき、大きな池も。相当な金額が掛かっていると思う。これから維持管理にも相当な金額が掛かると思う。大井川用水の防護柵、相当水が流れが早い、老人、子供が足を滑らして事故がないように、防護柵は早急をお願いしたい。小笠農園がありますが、公園の中に小屋を作って小笠の特産品を売るとか、商品を売るとか、今、作っている公園も、むだな公園を作ったとならないように。

市長

公園の管理について、地元の皆さんに心配していただき、また無駄の無いように言っただき、ありがとうございます。今、私どもも、維持管理について、どのようにしていくかを考えています。公共用地、今言われた公園、当時は必要と思って作ったが、今は使っていないところもあります。内部で公園の管理について協議しまして、地域の皆さんが活用できるよう考えていきます。当然地元と相談し、地元を協力してもらおうもの、私ども行政で行うものなどを考えながら進めてまいります。

また、大井川用水の件ですが、子供の通学路の問題もありますので、来月、大井川用水の役員会がありますので、そこで危険について大井川右岸土地改良区に話をします。

東嶺田 男性

予算はどの位使うのか。

農林課長

3年間で約8,000万円の予定です。

東嶺田 男性

8,000万円は貴重な税金です。将来、無駄にならないようにしっかり管理して欲しい。よかったとなるように、私どもも協力するし指導もして欲しい。あそこにベンチがありますが、通ってもだれもいない。駐車場もない。お金を使っただけの公園ではもったいない思ったわけです。

西嶺田 女性

西嶺田で先日火事、ボヤがありました。家の消火器を使って初期消火してボヤで済みました。その消火器のことですが、全部使ったので、詰め替えをしたいと消防署へ電話したところ、そういう制度は無いということでした。消防団の方にも聞きましたがそういう制度は無いということでした。火事で大切なのは初期消火、それに協力したのに、家だけ損した思いになった。河原崎商事さんに行ったら詰め替えより買い替えが良いと進められ、3,800円で新しいのを買いました。金額は少ないが、他の方が自

分の家の消火器を持って行って消火したときに、後に何にも無かったでは、やな思いが残ると思います。火事の家には請求するのは心苦しい。火事の家は色々なことで費用がかかっている。消防団の人が行って話してくれるとか、地域で初期消火の消火器代を支援してもらえたら。気持ちよく、良い事をしたと思えるようにしていただけたらと思いました。検討をお願いします。

総務企画部長

地域で安全を守ってもらうのは重要です。気分的に気まずい思いが残ってしまったということは、いいことではないと思います。市役所内で制度について検討しますので、時間を下さい。

嶺田地区会長

いつ頃まで待てば良いか。

総務企画部長

数ヶ月お願いしたい。新しい制度を作るに当たっては、色々な手続きが必要です。

東嶺田 男性

今度出来た、県道相良大須賀線で入れた水路の柵が全然違います。私と自治会長で設計と全然違っていると言ってやり直させた。そのようなことが、堂々で行われている。埋めた柵の位置も違います。北小へ行くところの市道の水路をやった時に、仮にやったものが、そのまま民有地にやっております。測量をやって立会いして決めた位置が、全然違う位置に柵を設置されたが、市としてどう考えますか。変な工事がやられている。市は、われわれの大切な税金を使ってやった道ですから、責任を持ってやってもらいたい。

建設経済部長

詳しく聞いて、後ほどお宅に説明にあがります。

東嶺田 男性

相良大須賀線のところ、山内加工に貸してあるところが、残骸でやっております。私は残骸を置いてくれと言いません。元のどおりでいいです。なぜそれを認めたのか。

建設経済部長

その点も含めまして、調査して報告します。

中嶺田 男性

適正な人員管理ということで、37人を5年間で削減すると言いますが、日本一親切丁寧な市役所を目指すというときに、37人減らしてできるのか。37人は余剰人員と、見積もっていますか、お聞かせ下さい。

市長

37人は集中改革プランの5年間の目標数値です。人数が減ったからそのままサービスが低下しないように、組織とか職員の資質向上を段階的に進めてまいります。限られた財源の中で、5年間で37名の削減をしてもサービスの低下にはならないとの判断で取り組んでいます。合併して当初はそれぞれの町のやり方があります。5年以内の中で、従来のやり方をスリム化し、サービスが低下しないような手段を取るなかで、取り組んでまいります。この人数には消防署、菊川病院も入っています。ただ病院、消防署については、人のサービスが大きなウエイトを占めています。病院については病院長、事務長と話をする中で、また、消防署については南分遣所のあり方、サービスが低下しないようなことを考えての数値目標となっています。

中嶺田 男性

菊川市になって1年半、名所、旧跡の立て看板がまだ、小笠町、菊川町になっているところがある。チェックしていただいて、菊川市の名前にして欲しい。

市長

戻りまして、関係部署に指示します。

大石 男性

地元の小菊荘について、お聞きします。建物自体、30年近く経ちますが、耐震補強はどのようになっていますか。今後の運営の見通しは、どのようになっているか、お聞きしたい。春・夏・冬休みの学生の利用者は多いが、休み以外の利用者の増加を考えられていますか。私が例として考えたのは、奥の公園にグランドゴルフの公認コースを作ったらどうか。そして食事と入浴で利用してもらったらどうか。桜の並木もきれいにあります。桜に山の雑木がかかっています。市として雑木を切って桜を優先して欲しい。周辺の畑ではお茶も荒れてきています。そこから垂れ水が流れていますが、蛍を放流するなどして、小菊荘の利用者を増やすのに使えないか。そのようなことを含めて、運営方法を検討して見て下さい。

市長

昨年度の小菊荘の運営につきましては、人員ベースはほぼ横並び、売り上げは

7%位下がっている状況です。職員もがんばってくれていて、大学の関係者を誘致したり、風呂の許可を取ったり、昼食のサービスなどいろいろ試みられています。そのような中、宿泊者から耐震はどうかと聞かれたりしますので、耐震診断を今年度、実施します。今後の小菊荘をどうするかということですが、慎重に考えて欲しいとの意見も聞いています。集中改革プランとか、指定管理者制度など、どのような運営をやっていくのが市民の皆さんに理解を得られるか、少し時間をいただいて考えて生きたいと思っております。ここ1、2年での民間委託は考えていません。こうした方がよいよというようなことを、お金がかからない範囲でいただければ、ありがたいと思いません。

大石 男性

土地を提供した地区としては、有効に使って欲しい。未永く愛されるように、可愛がって欲しい。

掛川市は2学期制を取り入れていると聞きます。菊川市として2学期制の導入の予定はありますか。また導入するならその利点、導入しないならその欠点について教えて欲しい。

生涯学習と地域のふれあいの場として、小笠町では町民体育大会がありました。子供からお年寄りまで一緒に参加し、地域の親睦をすることができました。菊川市になってソフトボール、ソフトバレー、グランドゴルフなど特定の年代の人が楽しめるものはあるが、地域でふれあうものが少ないと思うが、地域のふれあいになるような、運動が計画されているか、教えて欲しい。

地域のふれあいになるような運動が計画されているか教えて欲しい。

教育長

文部科学省の考えでは、2学期制については各学校の校長に任せられています。それぞれ、利点も欠点もあります。小笠町でも、2学期制を取っている学校もあります。静岡市などでは、2学期制を取っていますが、今までずっと3学期制できていましたので、2学期制にして無理があるといっている先生もおられます。というのは、今の休みは3学期制で出来ています。もう少し時間をかけて、菊川市として統一したらどうかと考えています。

教育的にも旧小笠町と旧菊川町で相違点があります。これを一時に全部、どちらか一方に合わせるのは無理があります。町民体育大会も検討課題となっており、もう1、2年時間が欲しいと考えております。

大石 男性

大石自治会は、予算が少ないわけです。今までは運動会があり、その補助がありま

した。今度はトリムバレーを始めるよ、市の大会だよと言われれば、ボールも買わなければなりません。新しい競技が始まるなら、市からボールを渡すから、取り組んで下さいというような形で、市の補助があっても良いのではないかと、私は思います。

教育長

検討いたします。

堂山 男性

世の中のモラルが低下した。土木委員をやらしてもらっているが、川をペットボトルや食べかすなどが入ったビニールが流れてくる。それを毎朝、土木委員が処理しています。内外化成の西側の道路に毎朝、大型トラックが止まっている。出がけに弁当を捨てていってしまう。こういったことに対する注意の看板などを設置するか、駐車禁止にしてもらいたい。

私も農業をやっていますが、農業離れが進んできました。高齢化により、農業がやれなくなり、荒廃した田んぼが出てきました。どうすれば良いかと色々考えますと、できれば法人化のようにしてみんなで一緒に農業をやる施策といいますか、方向性を考えていただいて、荒廃する農地を守っていく方法を考えていただきたい。

福祉環境部長

ポイ捨てが見受けられます。粗大ごみが捨てられている場合については、物によっては警察と一緒に現地に行き、調査したり片づけをやらしてもらっています。先ほど環自協の話でも出ましたが、不法投棄に対する啓発的な呼びかけも考えております。こういった問題は、どうしても皆さんのマナー、モラルになります。市でも現地を確認させてもらったり、特定ができれば注意をします。

農林課長

大きな質問をいただきました。このことは、どこの市町村での言われており、高齢化で担い手がいません。国、県の奨励する担い手、集落営農とか言葉では増すが、実際は、市役所でも指導していかなければなりません。ただ言うだけでやっていただけなら簡単ですが、みなさん頭ではわかっていますが、なかなかまとまりません。話あいをして良い方向に行けばと思います。

西嶺田 男性

私も、田んぼ、畑をある程度持っています。嶺田地区は、広大な稲作を持っているが、お米は余りますので、転作で作ってはいけません。担い手といいますと、旧小笠町においても、人から借りて、年貢米を出して、そのあとの中で、生産性を高めながら、

機械設備とかいろいろやりながら、工夫してやっています。しかし、その人たちも最近見ると、ただでもこれ以上は作っていけない。そういう時代に入って来ている。そういうなかで、これだけの農地を、何かに5年、10年後にやろうとする方はいないと思う。そうする夢、ロマンがありませんので、後継者育成とか担ってやってくれる人がいないと思う。その辺のところを短いサイクルでなく、3年でも、5年でも嶺田地域、これだけの稲作をどうやっていくか、そして当面、大井川用水にしる、排水路にしる施設も老朽化しております。何も作らずに、私どもも20年、30年と作ってもらっていますが、無収益の中でも、何か新しいものを作れば地元の負担金がかかる。そういうのが現状でありまして、出来たら先程の井の宮神社の公園の施設にしても市立病院もそうですよ、小菊荘もそうですよ。15年、20年来、市が負担金出してやっている。幸い医師の不足は菊川市の病院は一応カバーしているとのことですが、掛川市、浜岡病院とか、医師の問題でさえそうなっている。そのような中で、僕が疑問を持つのは、効率性のものはどこに問題があるか考えていって、大石の方も言っていたような考えも必要でしょうけれども、所詮、農地も不要となった。生産性の上がない時代になってきましたので、ある程度はこういったものを何かに活用いただいて、その中で農地の維持管理を解消しようとする気持ちが芽生えてきている時代に入ってきている。それでは、どうしてやっていくか、それは難しい問題ですけれど、そういったことも考えていかなければいけないと思います。何かを作ったって、病院ですら、人の命にかかるところですら赤字であるならば、飲んだり、食べたりするところは、赤字になるのは当たり前です。それに何かを加えたって、その辺のところを本当に真剣に考えて、色々なものを、上乘せして作っていくのはいいのですが、ある程度のことを考えながら、やっていただきたい。住民の皆さんも、やっぱり自分の持った土地とかも守っていけないと思います。

中嶺田 男

コミュニティセンターの委員会の中で検討してきました。その中でコミュニティセンターの候補地が決まり、市へ申請しています。建設予定地の一部が農地青色のため、農転の申請手続きを現在進めています。時間がかかると聞いています。市が奨励している施設ですので、配慮いただき、なるべく早く農転が出来るよう、配慮をおねがいします。いつ頃農転ができますか。分かる範囲でお聞かせ下さい。

農林課長

嶺田のコミュニティセンターの予定地の一部が農振の青地ということを知っています。5年に一度農振の見直しがありますが、5年たっていませんが、合併しての旧町の農振地域の見直しを行うこととなっています。平成18年度に基礎調査、平成19年度に農振の変更、合わせるだけとの基本ですが、その中で市政の方針ということで、そこ

を除外したいということで含める予定です。予定で言いますと平成20年の3月頃と予定しています。転用となりますので、それから1,2ヶ月はかかります。

東嶺田 男

小笠のシルバーセンターの前の道路が悪くなり、リサイクルセンターもありますので整備をして欲しい。県道に出るのに砂利をかき分けるようなかっこうになり、危ないです。早急に直すようにお願いします。

小笠支所長

役場の東側のリサイクルから県道に出るところの道のことですか。

東嶺田 木村

そうですが、駐車場も整備してもらいたい。

小笠支所長

現地を一度見させていただき、どのような方法が良いか考えさせていただきたい。

男性

コミュニティセンターについて要望させていただきます。菊川にある地区センターの間取りはどういうものが教えて欲しい。その部屋についてどの位の利用度が有るか、利用人員があるのか。今度作ってもらうコミュニティセンターを有効に使うために、ちゃんとした施設を作りたい。耐震、防災もしっかりして欲しい。もしわかればここで教えて欲しい。わからなければ後で会長へ渡してほしい。これからの参考にしていきたい。

総務企画課長

コミュニティセンター建設は、支所の総務企画課で担当いたします。嶺田地区につきましては、先日、建設委員の方々に菊川の地区センター、ひらかわ会館を見ていただきました。9月1日の夜、その時の感想とか嶺田の地区はどうしようかとかを、話し合っていました。委員さんの方には、菊川の平面、レイアウトなどもお渡しして、嶺田地区に合ったものを作って行きたいと思っています。大きく作りたいとのことですが、その地区人口、利用者等と規模、大きさ等について、皆さんと検討してまいりますので、おりおり地区に戻ってのお話があるかと思っておりますので、参考になさっていただければと思います。

男性

この地区は地震で大きな被害が出た地域ですので、耐震は確実にやってもらいた

い。

総務企画課長

建物の位置については皆さんと検討をし、その建物の位置のボーリング調査などの準備段階を踏んで建設に入っていきたいと考えております。

嶺田 男性

下水道について小笠地区には計画図もないが、将来嶺田地区についても下水道をやる計画はあるのか。合併浄化槽の設置補助はありますが、維持管理について補助があるのか。

建設経済部長

公共下水は、菊川地区では平成10年度から事業を始めており、昨年3月に供用開始しております。加入率といいますか接続率は6割強です。平成16年度から2期工事に入っています。小笠地区では、生活廃水の処理事業をやってきました。小笠地区での公共下水道の計画は、まだありません。合併処理浄化槽が義務付けられています。市全域で生活排水の処理をしていくということで、旧菊川でも計画区域外もあります。公共水域の水質を良くするのが目的であります。負担を公平に、公共水域の水質を良くすることを考える必要があります。

福祉環境部長

合併処理浄化槽については、新設と単独槽からの改善に補助しています。平成18年度で130基ほどを予定しています。不足があればまた要望して、水質改善に取り組みたいと考えております。

東嶺田 男性

コミュニティ協議会と自治会との役割分担はどのように考えていますか。

嶺田は広大な田園地帯です。市の方にも提言してありますが、行政、農協、地権者、地域が一体になって、全ての皆さんが知恵を絞らないと問題の解決にならないと感じています。これからは、国の補助も期待できない、地権者も権利だけでなく、自分の土地を将来どうしていくか責任があります。知恵を出して、この地域をどうしたら良いか、田園が荒廃したままではそれだけでなく、洪水とか弊害にもなります。こういったことは避けなければなりません。この地域の美田を子孫にいい田んぼとして、残していきたいとの強い希望を持っておりますので、行政も力を注いでいただきたい。

市長

各地区で、嶺田に来れば水田、東に行けばお茶、ハウス、イチゴなど色々あるわけ
でして、JAさん、農業関係者、行政も関わる中で早急に、今後の菊川市における農
業施策の方向性を、総合計画を作っている中で、柱の中で考えて行きたいと思いま
すので、ご指導をお願いします。

地域支援課長

コミュニティ協議会と自治会との役割分担についてですが、コミュニティ協議会を
ろうとしている第一の理由としては、今の自治会の組織がだんだん少子高齢化してい
くなかで、今後10年、15年、このままの状態です。自治会組織がいけるか不安があ
ります。そのためにコミュニティ協議会を立ち上げて、地域と横の連携を強固にする
中で、色々な行事を行って行きたいと考えております。始めのうちはコミュニティ協
議会と自治会とが、どういう役割をするのだとか難しいところが出てくるかと思
いますが、相互が連携、協力しながら、本当に地域にあった地域で対応できる
まちづくりを目指して欲しいと考えております。防犯対策につきましても、子
供が大変危険な状況にあります。自治会だけで対応するのは難しい、子ども会、
PTA、健全育成、老人会など地域ぐるみで子供を守っていくようなことにな
っていくのではないかと思います。こういったことを、コミュニティ協議会の中
で、これから検討していただければ、より安心、安全の地域になっていくの
ではないかと思います。